

国名	ヴェネズエラ共和国		総支出経費	30,531,269 (円)
プロジェクト名	和	オリノコヘビーオイル 軽質化計画調査	調査の種別	実地調査、国内作業
	外	The Japanese First Survey for the Up-Grading Project of Orinocco Heavy Oil in The Republic of Venezuela	計画申請	54.9.30 国協(総計)才8-76号
調査員	氏名	広瀬 賢一	計画承認	54.9.20 54通才1577号
	所属	日揮(株) 国際事業本部技術顧問	調査完了日	55.3.31
	調査員数	6名	担当	工業調査課 内 藤
	現地調査期間	54.9.30 ~ 54.10.13 (14日間)		
報告書説明期間	—			
依頼コンサルタント名	日揮(株)			

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ヴェネズエラ・オリノコ川北岸 42,000 平方 km の地帯に賦存するオリノコ重質油は、膨大な埋蔵量(原始埋蔵量は約 2,000 億バレル)が推定されているが、重質油のため軽質化する必要があり、その実現は同国の膨大な課題となっている。

調査目的は、オリノコ重質油軽質化に対し日本側既知3グループが提案している方法(東亜石油、フレキシコカー及びブロードコープロセス、英洞化学—ユリカプロセス、北岩石油・宇奇興産—H-DS/テリコプロセス)について、それぞれの特長を明確にし、ウエ領の商業化プラント(125,000 バレル/日)建設計画策定に必要資料を中立的立場(政府副ベース)から提供することである。

調査内容は、①ウエ領調査地帯の体系的な把握、②ウエ領産出サンプル油に係る諸議、わが国への搬送手続、③次回産出予定のオ2次調査のための基本的前提条件の具体的な内容の協議・確認 ④オ2次調査のSCOPE OF WORK の協議・設定 ⑤サンプル油の解析ならびに日本側3グループによる各プロセスの固有事項及び3グループの共通事項の検討・整理である。

(229)

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- ① ウエ領調査地帯は、鉄山省(MEM)—石油公社(PETROVEN)—国営株式会社(PETROVEN傘下のLAGOVEN)である。
- ② サンプル油は、ウエ領到着後約1ヶ月遅れて、昭和55年2月日本到着、解析業務に着手した。
- ③ 基本的前提条件の査度
 - (i) 原料となる重質油の分析値等 (ii) 製品の性状等 (iii) ガス等の副製品の取扱い等について。
 - (iv) 新規調査地帯は、Cerro Negro地区(カラカス市の東東480km)である。
- ④ オ2次調査の現地調査は、昭和55年5月中・下旬(約3週間)に予定。
- ⑤ ドラフト報告書の説明ミッションの派遣は、昭和55年9月、最終報告書の提出は、昭和55年11月を予定する。

(3) その他(今後のフォロー)

昭和55年度において、オ2次調査(現地調査)を完成予定(昭和55年4月下旬より約3週間)

2. 日程表

日順	月日	曜	行 程	交通手段	宿 泊 地	指・単・2地特別		調 査 内 容
						日当	宿泊	
1	9/30	日	東京 → ニューヨーク	JL 006	ニューヨーク	指	指	
2	10/1	月	ニューヨーク → カラカス	PA 217	カラカス	指	乙	
3	2	火			〃	乙	〃	日本大使館表敬、打合せ
4	3	水			〃	〃	〃	エネルギー・鉱山省表敬 } 関係機関との会義
5	4	木			〃	〃	〃	
6	5	金	カラカス → シューダ・ガイナ	Ⓢ	〃	〃	〃	
7	6	土	シューダ・ガイナ → カラカス	Ⓢ	〃	〃	〃	
8	7	日			〃	〃	〃	
9	8	月			〃	〃	〃	} エネルギー・鉱山省始め関係機関との打合せ
10	9	火			〃	〃	〃	
11	10	水			〃	〃	〃	ヴェネツィアとの最終打合せ、日本大使館報告
12	11	土	カラカス → ニューヨーク	PA 218	ニューヨーク	指	指	
13	12	金	ニューヨーク			指		
14	13	土	→ 東京	JL 005		乙		

3. 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区	介	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資料購置	IV 送答費	V 附帯費	合計
① 計 費 額	事業団直営分	1,988,896	226,038	30,000	0	541,000	2,785,934
	コンサル契約分	2,076,000	892,000	0	29,111,000	0	32,079,000
	計	4,064,896	1,118,038	30,000	29,111,000	541,000	34,864,934
② 支出実績額	事業団直営分	1,971,632	177,916	29,440	0	174,281	2,353,269
	コンサル契約分	2,059,000	8,000	0	29,111,000	0	31,178,000
	計	4,030,632	185,916	29,440	29,111,000	174,281	33,531,269
③ 差 引 額 (① - ②)	事業団直営分	17,264	48,122	560	0	366,719	432,665
	コンサル契約分	17,000	884,000	0	0	0	901,000
	計	34,264	932,122	560	0	366,719	1,334,665

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 計 費 額	② 支出実績額	③ 差 引 額 (① - ②)
日 揮 株 式 会 社	32,079,000	31,178,000	901,000

4. 調査業務支出の内訳

I 調査旅費

4,030,632 円

③ コンサルタント契約分

(単位:円)

No	氏名 (担当)	格付 (%)	日数 (H/日~H/日)	航空賃	支度料	滞 在 費						リムジンバス	旅行雑費	合 計		
						日 当			着 泊							
						回数	単価	日数	回数	単価	日数					
1	廣瀬 鏡一 (田 長)	1	14 (9/30~10/13)	東京<->ニッポン <->カラシ 462,500	39,080	指	1,700	4	56,800	指	14,600	2	143,200	3,800	3,500	710,880
						Z	3,800	10		Z	11,400	10				
2	細谷 泰久 (石油精製)	3	14 (9/30~10/13)	東京<->ニッポン <->カラシ 462,500	33,015	指	4,000	4	48,000	指	12,500	2	123,000	3,800	6,500	676,815
						Z	3,200	10		Z	9,800	10				
3	塚越 輝志 (石油精製)	3	14 (9/30~10/13)	東京<->ニッポン <->カラシ 462,500	33,015	指	4,000	4	48,000	指	12,500	2	123,000	3,800	1,500	671,815
						Z	3,200	10		Z	9,800	10				
	③ 計			1,387,500	105,110				152,800				389,200	11,400	13,500	2,059,510
												1000円未満10 捨			2,059,660	

④ 直営分

1	須斐 敏夫 (技術協力政策)	4	14 (9/30~10/13)	東京<->ニッポン <->カラシ 462,500	7,748	指	1,100	4	48,000	指	12,500	2	123,000	3,800	3,061	648,109
						Z	3,200	10		Z	9,800	10				
2	清川 孝治 (石油精製)	4	14 (9/30~10/13)	462,500	30,995	指	4,000	4	58,000	指	12,500	2	123,000	3,800	5,061	620,358
						Z	3,200	10		Z	9,800	10				
3	安木 香夫 (業務調整)	3	14 (9/30~10/13)	462,500	8,253	指	4,000	4	48,000	指	12,500	2	123,000	3,800	4,114	650,167
						Z	3,200	10		Z	9,800	10				
	④ 計			1,387,500	46,996				144,000				389,000	11,400	12,786	1,971,632

(232)

④ + ③

4,030,632

II 現地調査費

186,676 円

(円)

費 目	直 営 分	コンサルタント分	計
① 車船等借上費		12,942	12,942
② 通信運搬費	96,449		96,449
③ 会 議 費	79,627		79,627
④ 雑 費		4,690	4,690
⑤ 外貨交換手数料	2,220	176	2,396
⑥ 交換差益	380	△ 9,459	△ 9,079
計	178,676	8,249 ⑧ 8,000	186,676

⑧ 国内設計作業			
区分 格付(円)	単価(人・日)(円)	人 日	金 額 (円)
1	39,100	23日 x 14	1065,820
2	30,000	23日 x 13	897,000
3	25,400	23日 x 33	1927,860
4	20,300	23日 x 9.1	4,248,790
5	16,300	23日 x 23	862,270
		計	9,001,740

III 資材等購送費

29,440 円

費 目	直 営 分
消耗品等購入費	29,440

技術費合計 (各費目を1000円未満切捨て)

費 目	完 成 額 (円)
(1) 直接人件費 (A)+(B)	9,902,000
(2) 経 費 (1) x 110%	10,892,000
(3) 技術経費 {(1)+(2)} x 10%	8,317,000
合 計 (1)~(3)	29,111,000

Y 技術費

29,111,000 円

④ 現 地 調 査				
区分 格付(円)	単価(人・日)(円)	日 数 (日)	人	金 額 (円)
1	33,100	14 x 23日 36日	1	355,273
3	25,400	14 x 23日 36日	2	545,253
		計		900,526

VI 附帯費

174,281 円

費 目	金 額 (円)
① 会 議 費	23,030
② 備 人 員	151,251
合 計	174,281

国名	インドネシア共和国		
プロジェクト名	和	石油探鉱生産データバンクシステム開発計画調査 (第2次)	
	外	Conceptual System Design for the petroleum Exploration and Production Data Bank System Development Project in the Republic of Indonesia	
調査員名	氏名	笠原 大樹	総支出経費
	所属	日本オイルエンジニアリング (株)	48,131,435 円
調査期間	調査員数	—	調査の種類
	現地調査期間	—	国内作業、報告書作成
	報告書読取期間	—	計画申請
使用コンサルタント名	日本オイルエンジニアリング (株)	計画承認	54.7.31 国協 (総計) 7-76号
		計画承認	54.8.24 54通オ / 504号
		調査完了日	55年3月31日
		担当	資源調査課 浅井

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本業務の目的は、インドネシア共和国が、同国の経済に重要な意義をもつ石油並びに天然ガス資源の探鉱及び開発に関する情報を収集・整理、蓄積し、これらを効率的に利用しうる石油の探鉱及び生産データバンクシステムを作成することである。我が国政府は、本件、協力要請を受けて現地調査団を昭和53年11月20日から昭和53年12月24日にわたり(1)国に派遣し、その結果を報告書にとりまとめた昭和54年7月14日から昭和54年7月22日にわたり、インドネシア共和国に提示し、今回はこの「インドネシア共和国石油探鉱生産データバンクシステム開発計画調査報告書」に基づき、石油探鉱生産データバンクシステムを確立する為に必要な概念設計及びその報告書案作成の業務を実施した。作業項目の概要は次のとおり。

- 1) データバンクシステムのソフトウェアに関する概念設計
- 2) 情報処理装置の検討及び提案

- 3) データバンクシステムの導入・運営に関する基本計画の作成
- 4) 情報処理装置に関する検討及び提案
- 5) データバンクシステムの導入・運営に関する基本計画

(2) 結論及び勧告 (調査結果)

- (イ) 出力方法：データバンクシステムの利用の便を考慮して、入出力データを9専門分野に分類し、データバンクシステムの出力方法をその処理方法によって基本型出力方法、組合わせ出力方法及び統計出力に分類し、合計227個の出力方法を提案した。
- (ロ) システム概念設計：上記出力方法が検討され、システム設計の基礎となるデータストラクチャーが構築された。総数にあたって出力項目が検討され、データストラクチャーの最小単位となる約1400個のデータ項目が整理され、それらデータの水準及び相互関係が分析され、17個のルートセグメントを根拠とし、第2、第3段階にデータの集合体であるセグメントとして階層構造に分類された。

(3) その他 (今後のフォロー)

昭和55年度において、今回作成された概念設計報告書(案)をインドネシアに赴いて説明、協議を行ったりして、所要の修正を加え正式報告書を作成する。

2 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区	分	I 報告書作成費	II 技術費	III 謝金	合計
① 計 重 額	事業田直営分	0	0	182.500	182.500
	コンサル契約分	660.000	47.406.000	0	48.066.000
	計	660.000	47.406.000	182.500	48.248.500
② 支出実績額	事業田直営分	0	0	65.435	65.435
	コンサル契約分	660.000	47.406.000	0	48.066.000
	計	660.000	47.406.000	65.435	48.131.435
③ 差 引 額 (①-②)	事業田直営分	0	0	117.065	117.065
	コンサル契約分	0	0	0	0
	計	0	0	117.065	117.065

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 計 重 額	② 支出実績額	③ 差 引 額 (①-②)
日本オイルエンジニアリング(株)	48.066.000	48.066.000	0

I 報告書作成費 660.000 円

費 目	コンサルタント分
① 報告書原稿作成費	100.000
② 印刷製本費	560.000
計	660.000

Ⅱ 技術費

47,406,000 円

⑧ 国内設計作業			
区分 格付(%)	単価(人・月) (円)	人・月	金額 (円)
2	30,000	23日×2	1,380,000
3	25,400	23日×11	2,426,200
4	20,300	23日×13	2,069,700
5	16,300	23日×6	2,247,400
		計	16,125,300

技術費合計 (各費目ととも1,000円未満切捨)

費目	実績額(円)
(1) 直接人件費	16,125,000
(2) 諸経費 (1) × 110%	17,737,000
(3) 技術経費 {(1)+(2)} × 40%	13,544,000
合計 (1)~(3)	47,406,000

Ⅲ 附帯費

65,435 円

費目	金額(円)
① 交通費	13,050
② 報告書送料	52,385
合計	65,435

No 54-40

国名	サウディ・アラビア王国			
プロジェクト名	和	サウディ・アラビア王国 石油化学工場建設計画第2次予備調査		
	外	THE SECOND IN-HOUSE STUDY FOR THE CONSTRUCTION PROJECT OF PETRO-CHEMICAL PLANT IN THE KINGDOM OF SAUDI ARABIA		
調査員	田長氏名	国内設計作業のみの調査とした。	総支出経費	36,248,100 円
	所属		調査の種類	国内作業、報告書作成
	調査員数		計画申請	54.8.21 国協(鉄計)8-36号
	現地調査期間		計画承認	54.9.30 54通才1573号
報告書説明期間			調査完了日	55.2.14
使用コンサルタント名	サウディ石油化学開発株式会社		担当	工業調査課 中島

1. 計画の概要

(1) (調査目的・調査内容)

本件はサウジ・アラビア王国東部アル ジュベールに建設を予定している石油化学工場の計画拡大に伴い、先に実施した予備調査(In-House Study)の結果を活用して、同計画の工場設備及び関連する輸送、製品の受入基地設備の建設計画、設備等を新たに予備的に調査し、当石油化学工場の事業計画策定の一助とすることを目的とするものであった。

調査の内容は、サウジ側からの新たな要請であるエチレン 450,000 トン/年とその規模に見合う毒薬品プラントで先の予備調査で検討した低密度ポリエチレン、エチレングリコールの規模修正に加えて高密度ポリエチレン又は、二塩化エチレンを新たに追加した場合のケースをそれぞれ組合せて経済性の算出をした。

(2) 結論及び物吉(調査結果)

サウジ側の要請であったエチレンプラント 45万トンを受入れるとして、下記の製品構成にしほり込んだ。

- 1) 低密度ポリエチレン 250,000 トン/年
- 2) エチレングリコール 150,000 トン/年
- 3) 高密度 80,000 トン/年

同時にプラント建設は2段階に分け、1期は 1985年完成とし、2期は1期完成後2年を目途とした。

(3) その他(今後のフォロー)

日本とサウジでの共同による企業化調査が予定される。

2 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区 分		I 報告書作成費	II 技術費	III 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業田直営分	0	0	202,240	202,240
	コンサル契約分	2,844,000	33,369,000	0	36,213,000
	計	2,844,000	33,369,000	202,240	36,415,240
② 支出実績額	事業田直営分	0	0	35,100	35,100
	コンサル契約分	2,844,000	33,369,000	0	36,213,000
	計	2,844,000	33,369,000	35,100	36,248,100
③ 差 引 額 (① - ②)	事業田直営分	0	0	167,140	167,140
	コンサル契約分	0	0	0	0
	計	0	0	167,140	167,140

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 計 画 額	② 支出実績額	③ 差 引 額 (① - ②)
サウテイ石油化学開発 (株)	36,213,000	36,213,000	0

I 報告書作成費 2,844,000 円

費 目	コンサルタント分
① 報告書原稿作成費	876,000
② 印刷製本費	1,968,000
計	2,844,000

Ⅱ 技術費

33,319,000円

⑧ 国内設計作業			
区介 格付(円)	単価(人・日) (円)	人・月	金額(円)
1	33,700	23日×0.17	129,421
2	30,000	23日×5.57	3,843,300
3	25,400	23日×6.78	3,960,876
4	20,300	23日×5.23	2,441,887
5	16,300	23日×2.60	774,740
計			1350,224

技術費合計 (各費目を1000円未満切捨て)

費 目	実績額(円)
(1) 直接人件費	11,350,000
(2) 諸経費 (1) × 110%	12,485,000
(3) 技術経費 {(1)+(2)} × 40%	9,534,000
合 計 (1)~(3)	33,319,000

Ⅲ 附帯費

35,100円

費 目	金額(円)
国内旅費	35,100

国名		ペルー共和国	
プロジェクト名		ペルー共和国マルコナ鉱山鉄石焼結工場建設計画調査 THE FEASIBILITY STUDY ON MARCONA SINTERING PROJECT IN THE REPUBLIC OF PERU	
調査団	団長	氏名 前橋 敏 弘	総支求経費 46,233,774 円
	調査団員数	9 名	調査の種類 実施調査、国内作業
	現地調査期間	54. 11. 20 ~ 54. 12. 10.	計画申請 54. 8. 30 国協 (総計) 8-76号
	報告書説明期間	-	計画承認 54. 9. 20 54通オ 1597号
使用インサリタント名		川崎製鉄 (株)	調査完了日 55. 3. 31
			担 当 工業調査課、山崎

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

マルコナ鉱山は、ペルー国経済復興政策の主力・鉱山セクターの重要な一翼を担うべく増産に力を入れているが、産出される鉄鉱石は、高い鉄分を有しているにもかかわらず、サルファ含有率が高い為、対日輸出は減少して来ている。この為、鉱山崩壊を担当している HIERRO-PERU は、当地に焼結工場を建設し、高付加価値を持ち、国際市場に於いて十分受けいられる商品としての焼結鉄を生産することを計画し、日本に対し F/S の要請としてきたものである。

これを受けて、日本は、年産250千トンの焼結工場の建設について協給画、原料画、インフラ、コージェネレーション、政府画からそのフェーズビリティを調査した。

(2) 結論及び報告 (調査結果)

(1) F/S 結果の詳細は今後の国内作業の完了を待たねばならないが、現地での調査の段階では、本プロジェクトに対する致命的な欠陥はないものと思料される。

(2) 尚、現地調査時の内題点としては、マルコナ鉱山より工場に搬入される鉄鉱石の成分が均一でないこと、現地での公害問題に留意する必要があること等が指摘される。

(3) その他 (今後のフアロー)

55年度に国内設計作業 (一部)、説明ミッションの派遣、報告書の作成を予定している。

ス日経表

日頃	月日	曜日	行程	次通事後 便行旅	寄泊地	着甲乙地群別		調査内容	名
						日当	宿泊		
1	11/20	火	飯田田原 山田 大住 木田 1印手 先発隊		メキシコシティ	乙	乙	移動	
			東京 J1062 → ロサンゼルス HX901 → メキシコシティ						
2	21	水	メキシコシティ PL621 → リマ		リマ	乙	乙	"	
3	22	木	リマ 鈴木 小野 石井 岡 買込班 東京 J1062 → ロサンゼルス		リマ ロサンゼルス	乙 甲	乙 甲	先発隊、大使館、HERRERA 訪問、針染	後発隊、移動
4	23	金	リマ → サンニコラス ロサンゼルス RG831		サンニコラス リマ	乙 甲	乙 甲	先発隊、移動	
5	24	土	サンニコラス リマ → サンニコラス 御手洗班員、サンニコラス → リマ		サンニコラス リマ	乙	乙	サイトにて調査打合せ	
6	25	日	調査団 サンニコラス 御手洗班員		サンニコラス リマ	乙	乙	調査団、現地調査	
7	26	月	" リマ → ロサンゼルス		サンニコラス ロサンゼルス	乙 甲	乙 甲	御手洗班員 移動	
8	27	火	" ロサンゼルス J1061 → 東京		サンニコラス リマ	乙 甲	乙 甲	"	
9	28	水	"		サンニコラス リマ	乙	乙	" 帰国	
10	29	木	" 橋本班員 東京 J1062 → ニューヨーク		サンニコラス ニューヨーク	乙 指	乙 指	橋本班員 出発	
11	30	金	" ニューヨーク → リマ		サンニコラス リマ	乙 指	乙 乙	" 移動	
12	12/1	土	調査団 小野鈴木大住班員 橋本班員 サンニコラス サンニコラス → リマ リマ		サンニコラス リマ	乙	乙	" 小野、鈴木、大住班員移動	
13	2	日	" リマ リマ		サンニコラス リマ	乙	乙	" " リマにて調査	

日順	月	日	行			高石	指原・Z地特別		調査内容
			調査団	産	交通手段		日当	高石	
14	12/3	月	調査団 サンニコラス	リマ	夜行機 サンニコラス	リマ	2	2	調査団 現地調査、小崎、鈴木 リマにて調査、植林田圃移前。
15	4	火	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 現地調査
16	5	水	サンニコラス	リマ	〃	リマ	2	2	移前
17	6	木	リマ			〃	〃	〃	討 査
18	7	金				〃	〃	〃	SHI ERRO PERU. 大枝松及枝
19	8	土	リマ	AR394	ロサンゼルス	ロサンゼルス	甲	甲	移前
20	9	日	ロサンゼルス		JL061	機 中	〃	機中	〃
21	10	月			東京	機 中	2	〃	〃

3. 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資料送達費	IV 報告書作成費	V 技術費	VI 附帯費	合 計
① 計画額	事業団直営分	1,268,795	158,772	20,000	0	0	1,447,567
	コンサル契約分	5,815,000	653,000	145,000	0	39,337,000	45,950,000
	計	7,083,795	811,772	165,000	0	39,337,000	47,653,367
② 支出実績額	事業団直営分	1,259,001	106,913	9,570	0	0	1,405,774
	コンサル契約分	5,770,000	76,000	145,000	0	39,337,000	45,328,000
	計	7,029,001	182,913	154,570	0	39,337,000	46,733,774
③ 差引額 (① - ②)	事業団直営分	9,794	51,859	10,430	0	0	299,593
	コンサル契約分	45,000	577,000	0	0	0	622,000
	計	54,794	628,859	10,430	0	0	919,593

(コンサルタント契約分内訳)

インサルト名	① 計画額	② 支出実績額	③ 差引額 (① - ②)
川崎製鉄株式会社	45,950,000	45,328,000	622,000

※ 調査業務支出の内訳

I 調査旅費 7,029,001 円

④コンサルタント契約分

(単位: 円)

No.	団員名 (担当)	旅費日数 (日) (月/日~月/日)	航空賃	支旅料	滞在費								リムジバス	旅行雑費	合計
					日			宿			食				
					地域	単価	日数	地域	単価	日数	地域	単価			
1	飯田 弘 (総括・調査)	21 (11/20~12/10)	東京→ロンドン→パリ →ロンドン→東京 483,600	28,160	甲 4,200 2	甲 11,700 1	乙 3,800 19	乙 11,400 8	計 80,600	計 217,900	0	5,065	865,325		
2	米田 崇夫 (岡山 建設)	21 (11/20~12/10)		70,070	甲 4,200 2	甲 12,700 1	乙 3,800 19	乙 11,400 18	計 80,600	計 217,900	3,800	5,065	861,035		
3	鈴木 晋 (津業、基礎、住宅)	19 (11/22~12/10)	東京→ロンドン→パリ →東京 483,600	70,070	甲 4,200 4	甲 12,700 2	乙 3,800 15	乙 11,400 14	計 53,800	計 185,000	17,000	4,721	818,091		
4	山田 志郎 (フロント、工事)	21 (11/20~12/10)	東京→ロンドン→パリ →ロンドン→東京 483,600	70,070	甲 4,200 2	甲 12,700 1	乙 3,800 19	乙 11,400 18	計 80,600	計 217,900	0	5,065	857,235		
5	大住 敏之 (経理、現況準備 市場調査)	21 (11/20~12/10)		66,030	甲 3,500 2	甲 10,900 1	乙 3,200 19	乙 9,800 18	計 67,800	計 187,300	3,800	5,065	813,595		
6	小肉 楠 志 (港務、土木、水道)	19 (11/22~12/10)	東京→ロンドン→パリ →東京 483,600	66,030	甲 3,500 4	甲 10,900 2	乙 3,200 15	乙 9,800 14	計 62,000	計 159,000	3,800	4,721	779,151		
7	石井 一 敏 (原料輸送)	19 (11/22~12/10)		61,990	甲 3,500 4	甲 10,900 2	乙 3,200 15	乙 9,800 14	計 62,000	計 159,200	3,800	4,721	775,111		
	④合計		3,385,200	482,420							17,100	34,423	5,770,543		
												100円未満切捨		5,770,000	

④ 直 営 分

(単位：円)

No	団 員 名 (担 当)	格 別 (号)	日 数 (月/日~月/日)	航 空 賃	支 度 料	滞 在 費						リムジンバス	旅 行 雑 費	合 計	
						日 当			宿 泊						
						地 域	単 価	日 数	計	地 域	単 価				日 数
1	御手洗 章 弘 アドバイザー	2	9 11/20~11/28	東京→ロサンゼルス→ →リマ→ロサンゼルス 483,600	キーンティ →東京 8,758	甲 4,200	2		35,000	甲 12,700	1		3,800	4,003	616,261
2	福林 慈 男 養 秀 綱 登	5	12 11/29~12/10	東京→ニューヨーク→ セルス→東京 483,600	リマ→ロサン ゼルス 6,737	指 甲 4,000	2		40,600	指 甲 12,500	1		4,500	5,503	642,740
	④ 合 計			967,200	15,495				75,600				182,900	9,506	1,259,001
														④ + ⑤	7,029,001

II 現地調査費

182,913円

(円)

費目	直営分	サブワザン分	計
① 備人費		56,326	56,326
② 交通費	2,461		2,461
③ 資材枝等購入費		12,574	12,574
④ 現地報告書作成費		5,062	5,062
⑤ 会議費	100,656		100,656
⑥ 外貨交換手数料	302	1,039	1,341
⑦ 交換差益損	3,494		3,494
計	106,913	(注) 76,001 76,000	182,913

(注) 1000円未満切捨

II 資材枝等購送費

154,570円

(円)

費目	直営分	サブワザン分	計
① 資材枝送料		145,000	145,000
② 消耗品等購入費	9,570		9,570
計	9,570	145,000	154,570

IV 技術費

39,337,000円

④ 現地調査

区分 格付(場)	単価(人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
1	33,100	21 × $\frac{23日}{30日}$	1	532,910
2	30,000	21 × $\frac{23日}{30日}$	2	966,000
2	30,000	19 × $\frac{23日}{30日}$	1	437,000
3	25,400	21 × $\frac{23日}{30日}$	1	408,940
3	25,400	19 × $\frac{23日}{30日}$	1	369,993
4	20,300	19 × $\frac{23日}{30日}$	1	295,703
			計	3,010,546

技術費合計 (各項目とも1,000円未満の場合)

項 目	金額 (円)
(1) 直接人件費	13,380,000
(2) 諸 企 費 (1) × 110%	14,718,000
(3) 技術経費 (1) × 40%	11,208,000
合 計 (1)~(3)	39,306,000

V 附 帯 費 30,290円

費 目	金額 (円)
会 議 費	30,290

国名		マレーシア			
プロジェクト名		和	マレーシアASEAN/尿素原料工場建設計画調査		
		外	FEASIBILITY STUDY ON THE ASEAN UREA PROJECT IN MALAYSIA		
調査団	団長	氏名	植本 茂夫	総支出経費	56,301,315 円
		前 務	(社) 日本フロント協会	調査の種類	実地調査, 国内作業, 説明
	調査団員数		14名 (3名)	計画申請	54.8.21 国協 (総計) 9-36号
	現地調査期間		54.9.2 ~ 54.10.1	計画承認	54.8.30. 54 通才 1573号
	報告書説明期間		55.1.14 ~ 55.1.20	調査完了日	55.3.31
使用コンサルタント名			(社) 日本フロント協会	担 当	工業調査課, 福林.

1. 計画の概要

(1) (調査目的・調査内容)

サラワク州ピンツルに 沖合 CENTRAL LUCONIA 地区で産出する天然ガスを利用してアンモンア 1000トン/day 尿素 1500トン/day の規模の工場を建設するための F/S を行った。
 (尚、本件は ASEAN 五大工業プロジェクトの一つであり、円借案件)

(2) 結論及び動向 (調査結果)

- (1) 建設コスト 約297百万米ドル
- (2) ピンツル地区は他に LNG プロジェクト、DEEP WATER PORT プロジェクト等があり、本件プロジェクト実施のためには、上記プロジェクトを始めとして、水、電気、住宅等の関連計画が予定通り実施される必要である。

ii) マレーシアにおいて、尿素工場は初めての経路であり、理髪体制の確立、要員の訓練が必要であるだけでなく、販売体制の確立が重要である。

(3) その他 (今後のフアロー)

- 本件は ASEAN 五大工業プロジェクトの一つであり、円借案件。
- 次年度は報告書作成を行なう。

2 日程表

(植木 茂夫)

日頃	月日	曜	行 程	宿 泊 地	食 料 費 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	9. 2	日	東京 — クアランプール (JL-715) 11:35 18:45	クアランプール	¥300	13,100	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	日本大使館訪問、大使、参事官と打合せ、PETRONASと打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONASとゲルンゴール (経済、取務関係) 会議
4	5	水		〃	〃	〃	同 上
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONASとの全体会議
6	7	金		〃	〃	〃	PETRONASとの打合せ、日本大使館、参事官と打合せ、JETRO、K、L事務所訪問。
7	8	土	クアランプール — クラン (MH-501) 8:10 10:10	クラン	〃	〃	調査国内部打合せ。
8	9	日	クラン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	フロントサイト下見。
9	10	月		〃	〃	〃	LNQサイト調査、水源調査。
10	11	火		〃	〃	〃	サラワク電力公社 (SESCO)、ビンツール南経庁 (BDA)、 公共事業庁 (PWO) 訪問、開発計画等調査。
11	12	水		〃	〃	〃	ケマナ河水質調査
12	13	木	ビンツール — クラン (MH-268) 11:40 13:15	クラン	〃	〃	調査国内部打合せ。
13	14	金		クアランプール	〃	〃	サラワク州政府訪問、ビンツール地区総合開発計画調査、PWO訪 問、開発計画調査。
14	15	土	クラン — クアランプール (MH-502) 16:45 17:45		〃	〃	クラン、ポート、オーソリテイー訪問、港務関係調査

(植木 茂夫)

日 候	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	梅原之此等別		調 査 内 容
					日 当	着 有	
15	16	日		クアランプール	乙	乙	調査員内訳打合せ、資料整理
16	17	月		〃	〃	〃	PETRONASと打合せ、工業商祭場(MIOA) 副社長、Mr. Sadasivanと打合せ。
17	18	火		〃	〃	〃	ESSO マレーシア工場見学、メンテナンス関係等調査。
18	19	水		〃	〃	〃	PETRONASとの全体会談
19	20	木		〃	〃	〃	同 上
20	21	金		〃	〃	〃	農産省訪問、尿素肥料消費状況調査。
21	22	土		〃	〃	〃	PETRONAS、Mr. Agig (Director) と打合せ。
22	23	日		〃	〃	〃	中間報告書作成。
23	24	月		〃	〃	〃	同 上
24	25	火		〃	〃	〃	日本大使館、JICA、KL 事務所訪問、調査中間報告、PETRONASへ中間報告書提出。
25	26	水	クアランプール - 東京 (MH-010) 9:30 - 20:55		〃	〃	帰 国。

(坂泉晶保)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指.甲.2.地.特.別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	9.18	火	ジャカルタ — クアランプール	クアランプール	乙	乙	
2	19	水		"	"	"	PETRONASとの全体会議
3	20	木		"	"	"	"
4	21	金		"	"	"	農林省訪問・肥料消費にける調査、Chem. Co. of Malaysia 訪問、肥料関係調査。
5	22	土					PETRONAS社、PETRONAS. Mr. Aziz (Executive Director) に中間報告
6	23	日		"	"	"	中間報告書作成
7	24	月		"	"	"	"
8	25	火		"	"	"	日本人使館、JICA、K.L. 事務所訪問、調査中間報告、PETRONASへ中間報告書提出。
9	26	水	クアランプール — 東京 (MH-010) 9:30 20:55		"	"	帰 国。

(佐藤義雄)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指 甲 乙 地 等 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	9 2	日	東京—クアラリンポル(JL-715) 11:35 18:45	クアラリンポル	乙	乙	公 社
2	3	月		"	"	"	PETRONASと打合せ
3	4	火		"	"	"	PETRONASとグループ別(マーケット、流通関係)会議
4	5	水		"	"	"	同上の肥料公社(F.F.C)訪問、マレーシア肥料事情調査
5	6	木		"	"	"	PETRONASとの全体会議
6	7	金		"	"	"	PETRONASと打合せ
7	8	土	クアラリンポル—クワン(MH-501) 8:10 10:10	クワン	甲	乙	調査団内部打合せ
8	9	日	クワン—ピンツ—IV(MH-241) 8:40 10:15	ピンツ—IV	甲	乙	フロントサイト下見
9	10	月		"	"	"	フロントサイト調査
10	11	火		"	"	"	メメナ河水質調査、公共事業局訪問、用水関係調査
11	12	水		"	"	"	フロントサイト 揚水場調査
12	13	木	ピンツ—IV—クワン—クアラリンポル(①MH-268) ②MH-688 ①11:40 13:15②17:55 11:55	クアラリンポル	甲	乙	出版物センター訪問、資料調査
13	14	金	クアラリンポル—ペナン(MH-826) 13:00 13:40	ペナン	甲	乙	ペナン港施設関係調査
14	15	土		"	"	"	F.F.C訪問、コンベヤ施設等調査、ペナン、ポートコミ テイ訪問、港務関係調査
15	16	日		"	"	"	資料整理

(佐藤義雄)

日順	月日	曜日	行 程	宿 舎 地	出張の地等別		調 査 内 容
					自 当	他 当	
16	9.17	月		ベナン	乙	乙	RIRR CORPORATION 訪問、流通システム関係調査。
17	18	火	ベナン — クアランプール (MH-307) 17:05 17:45	クアランプール	乙	乙	良兼肥料会社 (MADA) 訪問、肥料関係調査、ベナン、ポートコミ ティ訪問、港務計画調査。
18	19	水		〃	乙	乙	PETRONAS の全体会議
19	20	木		〃	乙	乙	同 上
20	21	金	クアランプール — 香港 — 東京 (OCI-808) ① 9:05 14:10 ② 17:15 21:15 (CX-500)		乙	乙	帰 国

(安達勝雄)

日 次	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	指 揮 地 等 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	9. 2	日	東京 — クアランプール (JL-215) 11:35 18:45	クアランプール	○	○	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	PETRONAS と打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONAS とグループ別 (技術関係) 会議
4	5	水		〃	〃	〃	同 上
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONAS との全体会議
6	7	金		〃	〃	〃	ポートマクソン地区化学工業、石油工業調査、味の素マレーシア工場訪問、現地事情調査。
7	8	土	クアランプール — 74ン (MH-501) 8:10 10:10	74ン	〃	〃	調査団内部打合せ。
8	9	日	74ン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	フロントサイト不見。
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト、LNGサイト調査、水源地調査。
10	11	火		〃	〃	〃	ケメナ河水質調査、公共事業庁 (PWD) 訪問、用水状況調査。
11	12	水		〃	〃	〃	フロントサイト調査
12	13	木	ビンツール — 74ン (MH-268) 11:40 13:15	74ン	〃	〃	調査団内部打合せ
13	14	金		〃	〃	〃	サラワク州政府訪問、ビンツール地区総合開発計画調査、PWD訪問、開発計画調査。
14	15	土	74ン — クアランプール (MH-502) 16:40 17:45	クアランプール	〃	〃	74ン、ポートオーソリイティ - 訪問、港務関係調査。
15	16	日		〃	〃	〃	調査団内部打合せ、資料整理

(安達勝雄)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	春甲乙地特別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
16	9.17	月		77507-N	乙	乙	PETRONAS社行合世. 工業開発局(MIDA)副総裁, MY Sadasivan と打合せ.
17	18	火		"	"	"	ESSO マレーシア工場見学. メンテナンス関係者調査.
18	19	水		"	"	"	PETRONAS社の全体会議.
19	20	木		"	"	"	同 上
20	21	金	77507-N - 香港 - 東京 (OCI-808 ①9:45 14:10②17:15 21:15 CX-500		"		帰 国.

(桑 原 誠)

日 曜	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	指 定 之 地 域 別		調 査 内 容
					日 時	時 刻	
1	2	日	東京 — クアラロンゴール (JL-715) 11:35 18:45	クアラロンゴール	乙	乙	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	日本大使館訪問、大使、参事官と打合せ、PETRONASとスチ ニールと打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONASとトルブ列 (技術関係) 会議
4	5	水		〃	〃	〃	同 上
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONASとの全体会議。
6	7	金		〃	〃	〃	ポートディクソン地区地帯工業、石油工業調査、味の素マレー シア訪問
7	8	土	クアラロンゴール — クラン (MH-501) 8:10 10:10	クラン	〃	〃	調査団内部打合せ。
8	9	日	クラン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	フロントサイト下見。
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト調査、水源調査。
10	11	火		〃	〃	〃	サラワク電力公社 (SESCO)、ビンツール商売行 (BDA)、公営 事業所 (PWD) 訪問、南港計画等調査。
11	12	水		〃	〃	〃	ケナナ河水質調査
12	13	木	ビンツール — クラン (MH-264) 11:20 13:00	クラン	〃	〃	調査団内部打合せ。
13	14	金		〃	〃	〃	サラワク州政府訪問、ビンツール地区総合計画等調査。
14	15	土		〃	〃	〃	P.W.D 訪問、雨水計画調査、クラン港の現状調査。

(系原 談)

日順	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	宿 泊 地 特 別		調 査 内 容
					日 毎	宿 泊	
15	16	日		クワン	こ	こ	クワンにおける建設工事事情調査。
16	17	月	クワン — クアラランゴール (MH = 506) 22:50 23:50	クアラランゴール	こ	こ	BDA, PWD 訪問。道路計画社宅計画等の調査。クワン市内住宅見学。
17	18	火		こ	こ	こ	ESSO マレーシア工場見学。メンテナンス関係等調査。
18	19	水		こ	こ	こ	PETRONAS との会合。
19	20	木		こ	こ	こ	同 上
20	21	金		こ	こ	こ	Stanley Consultant 訪問。ピンツール造器関係調査。Chem. Co. of Malaysia 訪問。肥料関係調査。
21	22	土		こ	こ	こ	PETRONAS との打ち合わせ。PETRONAS-Mr. Aziz (Executive Director) へ中間報告。
22	23	日		こ	こ	こ	中間報告書作成。
23	24	月		こ	こ	こ	同 上
24	25	火		こ	こ	こ	日本大使館、JICA、K. 2 事務所訪問。調査中間報告。PETRONAS へ中間報告書提出。
25	26	水	クアラランゴール — 東京 (MH 010) 9:30 20:55		こ		帰 国。

(武 藤 勇)

日(順)	月 日	曜 日	行 程	着 泊 地	振替2地等別		調 査 内 容
					日台	泊泊	
1	9. 2	日	東京 — クアランプール (JL-715) 11:35 18:45	クアランプール	乙	乙	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	PETRONASとのお合せ.
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONASとグループ別(土木関係)会議.
4	5	水		〃	〃	〃	クアランプール気象台訪問. 資料. 情報収集.
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONASとの会合会議.
6	7	金		〃	〃	〃	クアランプール市内土産工場率調査.
7	8	土	クアランプール — クアン (MH-501) 8:10 10:10	クアン	〃	〃	調査田内都打合せ.
8	9	日	クアン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	フロントサイト. 水源地下見.
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト. 水源踏査. LNGフロントサイト工事状況視察.
10	11	火		〃	〃	〃	メナ河水質調査. ビンツール開発局(BDA)訪問. 水資源系情報収集.
11	12	水		〃	〃	〃	フロントサイト確認測量. 長石場視察. 復. 量の確認.
12	13	木	ビンツール — クアン (MH-264) 11:20 13:00	クアン	〃	〃	調査田内都打合せ.
13	14	金		〃	〃	〃	公共事業庁(PWD)訪問. 港灣計画の情報及び地質資料収集.
14	15	土	クアン — クアランプール 16:45 17:45	クアランプール	〃	〃	クアン・ポートオーソリティー訪問. 港湾使路調査.
15	16	日		〃	〃	〃	調査田内都打合せ. 資料整理.

(武藤 勇)

日順	月日	曜日	行 程	着 泊 地	表甲乙他特別		調 査 内 容
					日当	着泊	
16	9.17	月		カランゴール	乙	乙	PETRONAS と打合せ.
17	18	火		"	イ	イ	ESSOマレーシア工場訪問、メンテナンス関係者調査.
18	19	水		"	イ	イ	PETRONAS との全体会議.
19	20	木		"	イ	イ	調査中間報告書作成について打合せ.
20	21	金	カランゴール - 香港 - 東京 (OCJ-808 ① 9:05 14:10 ② 17:15 21:15 @CX-500)		イ		帰 国

(猪 岡 哲 男)

日 頃	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	指 導 者 氏 名 別		調 査 内 容
					日 頃	名 義	
1	9 2	日	東京 — クアラルンプール (JL-715) 11:35 18:45	クアラルンプール	乙	乙	出 発
2	3	月		"	"	"	PETRONAS との打合せ
3	4	火		"	"	"	PETRONAS とのグループ別 (マーケット、流通関係) 会議
4	5	水		"	"	"	同上及び肥料会社 (F.F.C) 訪問、マレーシア肥料事情調査
5	6	木		"	"	"	PETRONAS との全体会議
6	7	金		"	"	"	JICA 次長 農産部 内 取出口、杉本氏と面談、マレーシア農産事情調査
7	8	土	クアラルンプール — クチン (MH-501) 8:10 10:10	クチン	"	"	調査団内部打合せ
8	9	日		"	"	"	資料整理
9	10	月		"	"	"	WEE & WEE 肥料、化学会社訪問、流通関係調査
10	11	火		"	"	"	農地開発公社訪問、施設状況調査、統計局訪問、資料収集
11	12	水	クチン — コタキナバル (MH 501) 10:50 13:05	コタキナバル	"	"	スケジュール調整及び資料整理
12	13	木	コタキナバル — クアラルンプール (MH 066) 19:00 20:45	クアラルンプール	"	"	農産局、PADI BOARD、PEMBANGUNAN、DESA 社、PERDAGANGAN、PERKASA 社訪問、マーケット関係調査
13	14	金	クアラルンプール — マナシ (MH-826) 13:00 13:40	マナシ	"	"	マナシ港施設関係調査
14	15	土		"	"	"	TRANS ASIA SHIPPING 社、GUTHRIE、KIMIA 社訪問、流通関係調査、マナシ、ポートコミティ訪問、港務関係調査
15	16	日		"	"	"	資料整理

(横 岡 也 男)

日 順	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	船 名 及 船 種		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
16	9.17	月		マナン	乙	乙	RIRA CORPORATION 訪問、システム関係調査。
17	18	火	マナン — クアラUMPター IV (MH-307) 17:05 17:45	クアラUMPター IV	+	+	農薬肥料会社 (MADA) 訪問、施肥関係調査、マナンポートコミ ティー 訪問、港務計画調査。
18	19	水		+	+	+	PETRONAS との全体会議。
19	20	木		+	+	+	目 上
20	21	金		+	+	+	農薬省訪問、尿素肥料消費状況調査、Chem Co. of Malaya 訪問 肥料関係調査。
21	22	土		+	+	+	マレイシア、ゴム研究所訪問、施肥実態調査、統計局訪問、資料収集
22	23	日		+	+	+	中内報告書作成。
23	24	月		+	+	+	船運関係会社訪問、船隻調査、TRANS ASIA SHIPPING 社訪問 船運関係調査。
24	25	火		+	+	+	工業用港務会社訪問、船隻及び船運調査、農薬調査用港務会社訪問、 港務実態の調査。
25	26	水	クアラUMPター IV — マニラ (MH-063) 9:15 14:40	マニラ	+	+	スケジュール調整。
26	27	木		+	+	+	JICA、マニラ事務所訪問、調査打合せ、JETRO、マニラ事務所、 肥料関係会社訪問、船隻調査。
27	28	金		+	+	+	日本大使館訪問、調査状況報告、LUSTEVECO 社訪問、マニラ港務 関係調査、投資委員会訪問、船運会社等調査
28	29	土		+	+	+	資料整理
29	30	日		+	+	+	+
30	10.1	月	マニラ — 香港 — 東京 (CX-900) ①17:35 14:20 ②17:15 21:15 ③CX-500		+	+	船運関係会社訪問、資料収集、帰国。

(船員祥三)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	船 上 の 地 帯 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	2	日	東京 — クアラロンパール (JL-715) 11:35 18:45	クアラロンパール	乙	乙	武 登
2	3	月		〃	〃	〃	PETRONAS との打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONAS とのミーティング (経済、財務関係) 会議。
4	5	水		〃	〃	〃	同上
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONAS との全体会議。
6	7	金		〃	〃	〃	JETRO、K.L. 事務所、TRANS-ASIASHIPPING CO. CORP. 東京銀行訪問、マレーシア経済事情調査。
7	8	土	クアラロンパール — クタン (MH-501) 8:10 18:10	クタン	〃	〃	調査団内部打合せ。
8	9	日	クタン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	資料整理
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト、LNGサイト調査。
10	11	火		〃	〃	〃	サラワク電力公社、ビンツール開発局 (BOA)、公共事業局 (PWD) 訪問、開発計画調査。
11	12	水		〃	〃	〃	クメナ河水質調査。
12	13	木	ビンツール — クタン (MH-268) 11:30 13:15	クタン	〃	〃	調査団内部打合せ。
13	14	金		〃	〃	〃	サラワク州政府訪問、ビンツール地区総合開発計画調査、PWD 訪問、開発計画調査。
14	15	土	クタン — クアラロンパール (MH-302) 16:45 17:45	クアラロンパール	〃	〃	クタンポートオーソリテイ訪問、港湾調査。

〈植員祥三〉

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指 定 地 別		調 査 内 容
					日 当	指 定	
15	9. 16	日		カラレンブー	乙	乙	調査団内部打合せ、資料整理
16	17	月		〃	〃	〃	PETRONASEと打合せ
17	18	火		〃	〃	〃	申請報告書作成
18	19	水		〃	〃	〃	PETRONASEとの全体会議
19	20	木		〃	〃	〃	同 上
20	21	金	カラレンブー - 香港 - 東京 ①9:05 14:10 ②17:15 21:15 ③A-500		〃		帰 国

(滝田 征夫)

日次	月	日	行	着	着		調査内容	
					日	時		
1	9	2	東京	クアランプール (JL-715)	クアランプール	乙	乙	出 発
								11:35 18:45
2		3						
3		4						日本大使館訪問、大使、秘書長と打ち合せ、PETRONASと打ち合せ。
4		5						PETRONASとグループ別(天然ガス関係)会議。
5		6						同上
6		7						PETRONASと全体会議。
7		8						PETRONASと天然ガス関係調査
8		9						同上
9		10						資料整理
10		11						PETRONASと天然ガス関係調査。
11		12						同上
12		13						同上
13		14						同上
14		15						同上
15		16						資料整理
16		17						PETRONASと天然ガス関係調査
17		18						同上
18		19						PETRONASと全体会議及びグループ別(天然ガス関係)会議
19		20						PETRONASと天然ガス関係調査。
20		21		クアランプール - 香港 - 東京				帰 国
								①CI-808 ②9:05 14:10 ③17:15 21:15 ④CA-500

(山 口 途)

日 項	日 日	曜 日	行 程	商 泊 地	指 定 地 等 別		調 査 内 容
					日 当	商 泊	
1	2	日	東京 — クアランプール (JL-715) 11:35 18:45	クアランプール	乙	乙	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	PETRONAS とスケジュール打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONAS とグループ別 (経済・政府関係) 会議
4	5	水		〃	〃	〃	同 上
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONAS との全体会議
6	7	金		〃	〃	〃	PETRONAS との打合せ。JETRO、K.L. 事務担当者。
7	8	土	クアランプール — クタン (MH-501) 8:10 10:10	クタン	〃	〃	調査団内訳打合せ
8	9	日	クタン — ビンツール (MH-241) 8:40 10:15	ビンツール	〃	〃	資料整理
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト、ケメナ川河口調査。
10	11	火		〃	〃	〃	ケメナ河水質調査、公共事業庁 (PWD) 訪問、用水関係調査。
11	12	水		〃	〃	〃	フロントサイト調査、採石場見学、夜、豊の森赴き。
12	13	木	ビンツール — クタン (MH-268) 11:40 13:15	クタン	〃	〃	調査団内訳打合せ。
13	14	金		〃	〃	〃	サラワク州政府訪問、ビンツール地区、総合開発計画調査、PWD 訪問、南産許可調査。
14	15	土	クタン — クアランプール (MH-502) 16:45 17:45	クアランプール	〃	〃	クタン、ポート、オーソソディー訪問、港務関係調査、PWD 訪問、資料収集。
15	16	日		〃	〃	〃	調査団内訳打合せ、資料整理
16	17	月		〃	〃	〃	PETRONAS と打合せ。

(山 口 逢)

日 順	月 日	曜 日	行 程	商 泊 地	高 原 乙 地 詳 割		調 査 内 容
					日 当	商 泊	
17	9.18	火		カマコノアール	乙	乙	ESSO マレインア工務見学、メンテナンス関係等調査。
18	19	水		〃	〃	〃	PETRONASとの全体会議
19	20	木		〃	〃	〃	同 上
20	21	金		〃	〃	〃	PETRONASとの打ち合せ、気象庁訪問、資料収集。
21	22	土		〃	〃	〃	PETRONASとの打ち合せ、統計局、岩手物産院センターにて資料収集
22	23	日		〃	〃	〃	中間報告書作成。
23	24	月		〃	〃	〃	同 上
24	25	火		〃	〃	〃	日本大使館、JICA、K. L 事務所訪問、調査中間報告、PETRONASへ中間報告書提出。
25	26	水	カマコノアール — 東京 (MH-010) 9:30 20:55		〃		帰 国

(木川 良二)

日順	月日	曜日	行 程	着 泊 地	指 定 日 時		調 査 内 容
					日 時	着 泊	
1	9. 2	日	東京 — クアラレンゴール (JL-715) 11:35 18:45	クアラレンゴール	乙	乙	出 発
2	3	月		〃	〃	〃	PETRONASとの打合せ。
3	4	火		〃	〃	〃	PETRONASヒグループ別(土木関係)会議。
4	5	水		〃	〃	〃	クアラレンゴール気象台訪問、資料、情報収集
5	6	木		〃	〃	〃	PETRONASとの全体会議。
6	7	金		〃	〃	〃	クアラレンゴール市内土壌工事事情調査。
7	8	土	クアラレンゴール — クタン — ビンツール (MH-501) ①8:10 10:10 ②14:30 16:05 ③MH-263	ビンツール	〃	〃	資 料 整 理
8	9	日		〃	〃	〃	フロントサイト、水源地下見。
9	10	月		〃	〃	〃	フロントサイト、水源地踏査、LNGフロントサイト工事状況観察
10	11	火		〃	〃	〃	メナ河水質調査、ビンツール南交点(BDA)訪問、水源関係情報収集。
11	12	水		〃	〃	〃	フロントサイト選定調査、採石場視察、変遷の確認。
12	13	木	ビンツール — クタン (MH-204) 11:20 13:00	クタン	〃	〃	調査国内部打合せ。
13	14	金		〃	〃	〃	公共事業局(PWD)訪問、港域計画の資料及び地質資料収集。
14	15	土		〃	〃	〃	PWD訪問、用水計画調査、ホートオーソリテイー訪問、クタン港の現状調査。
15	16	日		〃	〃	〃	クタンにおける建設工事事情調査。
16	17	月	クタン — クアラレンゴール 22:50 23:50	クアラレンゴール	〃	〃	BDA, PWD訪問、道路計画、社宅計画等の調査、クタン市内住宅建設見学。

(木川 良二)

日項	月 日	曜 日	行 程	着 泊 地	指標2位率61		調 査 内 容
					日 当	積 泊	
17	9. 18	火		クアラランパ-IV	乙	乙	ESSOマレーシア工場見学、メンテナンス関係調査。
18	19	水		、	、	、	PETRONASとの全体会議
19	20	木		、	、	、	調査中間報告について内訳打合せ
20	21	金		、	、	、	Stanley Consultant 訪問、ピンツール港港関係調査。
21	22	土		、	、	、	PETRONASと建設技成について打合せ。
22	23	日		、	、	、	中間報告書作成
23	24	月		、	、	、	同 上
24	25	火		、	、	、	JETRO、K.L. 事務所訪問、建設技成輸入に関する情報収集、 PETRONASと土建コストについて打合せ。
25	26	水	クアラランパ-IV - 東京 (MH-010)		、		帰 国。
			9:30	20:55			

(熊谷、御手洗、福林田員)

日頃	月日	曜日	行 程	宿 着 地	着 用 之 物 特 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	9 2	日	東京 → クアラレンフェル	クアラレンフェル	2	2	熊谷、福林田員 出張
2	3	月	クアラレンフェル	〃	〃	〃	大使館表致、PETRONASと討議
3	4	火	〃	〃	〃	〃	PETRONASと討議
4	5	水	〃	〃	〃	〃	〃
5	6	木	御手洗田員 東京 → クアラレンフェル	〃	〃	〃	御手洗田員 出張
6	7	金	〃	〃	〃	〃	〃
7	8	土	クアラレンフェル → クタン	クタン	〃	〃	移 動
8	9	日	クタン → ビンツール	ビンツール	〃	〃	移動、サイト調査
9	10	月	(福林) (熊谷、御手洗) ビンツール ビンツール → クタン → クアラレンフェル	ビンツール クアラレンフェル	〃	〃	(福林) 熊谷、御手洗 現地調査 移動
10	11	火	〃 御手洗 熊谷 クアラレンフェル クアラレンフェル → 東京	〃	〃	〃	(福林) (御手洗) (熊谷) 大使館表致 帰国
11	12	水	〃 御手洗 クアラレンフェル → 東京	ビンツール	〃	〃	〃 (御手洗) 帰国
12	13	木	ビンツール → クタン	クタン	〃	〃	移 動
13	14	金	クタン → クアラレンフェル	クアラレンフェル	〃	〃	〃 大使館表致
14	15	土	クアラレンフェル → 東京	〃	〃	〃	帰 国

(植木 茂夫) (蕭 夏 祥 三) (坂 守 浩)

日 順	月 日	曜 日	行 程	宿 着 地	着 甲 乙 地 特 別		調 査 内 容
					日 当	高 泊	
1	1. 14	月	東京 — クアラルンプール (JL-715) 11:00 18:45	クアラルンプール	乙	乙	出 発
2	15	火		〃	〃	〃	日本大使館、JICA・K.L. 事務所訪問、打合せ、PETRONAS との全体会議
3	16	水		〃	〃	〃	PETRONAS との個別ミーティング (市場流通関係)
4	17	木		〃	〃	〃	(経済、政務、ガス源、技 術関係)
5	18	金		〃	〃	〃	PETRONAS との全体会議、日本大使館訪問、PETRONAS と の全体会議。
6	19	土		〃	〃	〃	会議議事録作成、PETRONAS へ提出。
7	20	日	クアラルンプール — 東京 (JL-714) 9:30 18:45		〃		帰 国。

3. 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 通信費等贈送費	IV 印刷費	V 図書費	合 計
① 計画額	事業団直営分	1,765,625	286,240	39,000	0	534,800	2,617,265
	コンサル契約分	8,146,000	1,109,000	88,000	50,600,000	0	59,943,000
	計	9,911,625	1,395,840	118,000	50,600,000	534,800	62,560,265
② 支出実績額	事業団直営分	1,402,284	169,246	19,050	0	131,735	2,021,315
	コンサル契約分	7,907,000	1,108,000	0	45,465,000	0	54,280,000
	計	9,409,284	1,276,246	19,050	45,465,000	131,735	56,301,315
③ 差引額 (① - ②)	事業団直営分	63,341	118,594	10,950	0	403,065	595,950
	コンサル契約分	239,000	1,000	88,000	5,135,000	0	5,663,000
	計	502,341	119,594	98,950	5,135,000	403,065	6,258,950

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 計画額	② 支出実績額	③ 差引額 (① - ②)
(社) 日本フロンティア	59,943,000	54,280,000	5,663,000

* コンサルタント契約は、報告書作成費のみ交戻(社) 済

4 調査業務支出の内訳

I 調査旅費

9,409,284円

② コンサルタント契約分

(単位：円)

No	団員名 (担当)	格付 (号)	日数 (月/日~月/日)	航空賃	支度料	滞在費						リムジバス	旅行雑費	合計		
						日			着							
						概	単価	日数	計	概	単価				日数	計
1	植木茂夫 (総括)	特	25 (9/2~9/26)	290,721	21,560	乙	4,300	25	107,500	乙	13,100	24	314,400	3,800	6,040	744,021
2	坂梨昌保 (法制)	1	9 (9/18~9/26)	109,619	39,080	乙	2,800	9	34,200	乙	11,400	8	91,200	1,900	0	276,999
3	佐藤義雄 (流通システム)	1	20 (9/2~9/21)	290,619	78,160	乙	3,800	20	76,000	乙	11,400	19	216,800	3,800	2,750	672,929
4	安室勝雄 (エテリテイー)	2	20 (9/2~9/21)	290,619	70,070	乙	3,800	20	76,000	乙	11,400	19	216,800	3,800	9,040	666,129
5	系原茂 (フロント)	2	25 (9/2~9/26)	290,619	70,070	乙	3,800	25	95,000	乙	11,400	24	273,600	3,800	2,340	740,429
6	武藤秀 (サ卜調査(監))	3	20 (9/2~9/21)	290,619	66,030	乙	3,200	20	64,000	乙	9,800	19	186,200	3,800	6,040	616,689
7	植野洋三 (監務)	3	20 (9/2~9/21)	290,619	66,030	乙	3,200	20	64,000	乙	9,800	19	186,200	0	8,040	614,889
8	緒岡哲男 (市場調査)	3	30 (9/2~10/1)	304,719	80,180	乙	3,200	30	96,000	乙	9,800	29	284,200	0	8,307	773,406
9	滝田征男 (天然ガス)	3	20 (9/2~9/21)	235,519	66,030	乙	3,200	20	64,000	乙	9,800	19	186,200	3,800	6,520	562,069
10	山口 滋 (負食)	4	25 (9/2~9/26)	290,619	15,497	乙	3,200	25	80,000	乙	9,800	24	235,200	3,800	10,000	635,116

② インサリクント契約分

(単位：円)

No	団員名 (担当)	格別 (号)	日数 (月/日~月/日)	検定費	支戻料	滞 在 費								リムジバス	旅行雑費	合 計				
						日 当				泊										
						地区	単価	日数	計	地区	単価	日数	計							
11	木川 良三 サイト調査 (港 務)	5	25 (9/2~9/26)	290,619	53,900	乙	3,200	25	80,000	乙	980	24	235,200	3,800	6,040	669,559				
12	植木 茂夫 (総 括)	特	7 (11/4~11/20)	260,400	10,780	乙	4,300	7	30,100	乙	13,100	6	78,600	3,800	2,299	385,979				
13	指 負 祥 三 (取 務)	3	7 (11/4~11/20)	260,400	8,253	乙	3,200	7	22,400	乙	9,800	6	58,800	0	799	350,652				
② 合 計				3,496,711	645,640				889,200				2,563,000	36,100	78,215	7,707,866				
															1,000円未満切捨					7,707,000

④ 直営分

1	熊谷 昌 宏 (取 査)	4	10 (9/2~9/11)	291,100	30,995	乙	3,200	10	32,000	乙	9,800	9	88,200	3,800	5,249	451,344					
2	御洗 章 弘 (企 画)	2	7 (9/16~9/12)	291,100	8,758	乙	3,800	7	26,600	乙	11,400	6	68,400	3,800	749	399,407					
3	福 林 憲 男 (検 査 調 査)	5	14 (9/2~9/15)	294,794	6,737	乙	3,200	14	44,800	乙	9,800	13	127,400	3,800	2,249	479,780					
4	御洗 章 弘 ()	2	7 (11/4~11/20)	260,400	8,758	乙	3,800	7	26,600	乙	11,400	6	68,400	3,800	3,795	371,753					
④ 合 計				1,137,394	55,248				130,000				352,400	15,200	12,042	1,702,284					
															(273)					④ + ②	9,409,284

II 現地調査費 1,276,246 円

費目	直営分	工下委託分	計
① 車輛等借上費		1,007,065	1,007,065
② 交通費		29,232	29,232
③ 通信運搬費	3,322	6,691	9,993
④ 資料等購入費		10,257	10,257
⑤ 現地報告書作成費		31,787	31,787
⑥ 会議費	160,624		160,624
⑦ 雑費	2,569	13,442	16,011
⑧ 外貨交換手数料	828	10,642	11,470
⑨ 交換差損	903	△109	794
計	168,246	1,108,987 (注)1,108,000	1,276,246

III 資料機材等購送費 19,050 円

費目	直営分
消耗品等購入費	19,050

V 研修費 45,465,000 円

④ 現地調査

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	実績額		
		日数(日)	人	金額(円)
特	50,000	25 × ^{23日} / _{30日}	1	958,330
1	33,100	17 × "	1	228,389
1	33,100	20 × "	1	507,530
2	30,000	20 × "	1	460,000
2	30,000	25 × "	1	575,000
3	25,400	20 × "	3	1,168,398
3	25,400	30 × "	1	584,200
4	20,300	25 × "	1	389,050
5	16,300	25 × "	1	312,416
			計	5,183,352

⑤ 国内設計作業

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	人・月	金額(円)
特	50,000	23日 × 10	1,150,000
1	33,100	" × 35	2,664,550
2	30,000	" × 40	2,760,000
3	25,400	" × 65	3,497,300
4	20,300	" × 0.6	233,450
5	16,300	" × 1.5	562,350
			11,787,650

㊟ 現地報告書説明

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	実績額		
		日数(日)	人	金額(円)
特	50,000	75.23日/30人	1	268,333
2	30,000	25.40日/1人 27日/32人	1	136,313
計				404,646

直接経費	
費目	金額(円)
電算機使用料	898,200

技術費合計 (各費目と6,000円未満切捨)

費目	実績額(円)
(1) 直接人件費(㉑+㉒+㉓)	16,755,000
(2) 諸経費(1) × 90%	15,079,000
(3) 技術経費{(1)+(2)} × 40%	12,733,000
(4) 直接経費	898,000
合計(1)~(4)	45,465,000

VI 附帯費 131,735円

費目	金額(円)
① 交通費	12,350
② 会議費	38,670
③ 報告書送料	25,615
④ 国内旅費	55,100
合計	131,735

国名	ボリビア共和国			
プロジェクト名	和	ボリビア共和国ピラヤ川水力発電開発計画調査		
	外	THE FEASIBILITY STUDY ON PILAYA HYDRO-ELECTRIC POWER DEVELOPMENT PROJECT IN THE REPUBLIC OF BOLIVIA		
調査団	団長	榎並敏夫	総支給経費	31,392,005円
	氏名	電源開発株式会社	調査の種類	実施調査、国内作業、説明、報告書作成
	前名		計画申請	54.8.30 国協(銀計)9-25号
	調査団員数	4名(2名)	計画承認	54.8.30 54通才1573号
	現地調査期間	昭和54年9月26日～10月29日	調査完了日	55.3.31
報告書説明期間	昭和55年3月17日～3月27日	担当	資源調査課、立石	
使用コンサルタント名	電源開発(株)			

1. 計画の概要

(1) 調査目的、調査内容

ピラヤ川水力発電開発計画は、ボリビア南部を流下する Pilcomayo川水系 Pilaya川中流部にダム及び調整池をつくり、pilaya川(43,640 Km²)の河水を利用して発電を行おうとするものである。その計画候補地点としては、ENDE(ボリビア電力公社)および国連によって作成された下流、フィジビリティ・レポートの中で Huacata 計画(基準有効落差 267m、最大使用水量 26 m³/sec、最大出力 60 MW、年間発電量 368 GWh)と Aguas Calientes 計画(有効落差 439m、最大使用水量 24 m³/sec、最大出力 90 MW、年間 579 GWh)が、選定されている。

本調査の目的は、上記2案についての比較検討を行い、より有望な一方の案を選定すること、及び選定された計画(案)に対し、地質調査工事を立案することである。

調査団は上記目的のため、現地踏査及び ENDE 及びその他の関連機関

との協議並びに必要な資料収集を行った。

(2) 結論及び動向(調査結果)

結論 Huacata 計画および Aguas Calientes 計画について検討した結果、技術的、経済的にも Aguas Calientes 計画が妥当であるとの結論に至った。

動向 前記結論からフィジビリティ調査に必要な、地質調査工事および水文、気象資料の収集を指示に従って行うと共に、フィジビリティ・レポートにおいては、土木調査物、発電出力の最適化検討等を含めた全体的見直しを行うべきである。

(3) その他(今後のフォロー)

昭和55年5月中旬頃より、調査工事指導監督のため、土木技士を現地に派遣する予定である。

昭和55年10月初旬頃、オ二次フィジビリティ調査団を現地に派遣する予定である。

2. 日程表

日頃	月日	曜日	行	程	高 泊 地		指 揮 乙 地 守 司				調 査 内 容				
					立石	石	日 当	高 泊	立石	石		立石	石		
1	9. 26	木	東京	18:00	23:50	→	リマ	KG-831	リマ	リマ	2	2	2	2	移 動
2	27	木	リマ	8:00	10:35	→	ラバス	BN-979	ラバス	ラバス	〃	〃	〃	〃	〃 大使館表決、ボツビア電力公社 (FNDE) ラバス支社訪問
3	28	金	ラバス	16:30	17:00	→	コヤバ	LB-849	コヤバ	コヤバ	〃	〃	〃	〃	移 動
4	29	土									〃	〃	〃	〃	ENDE表決、打合せ資料収集
5	30	日									〃	〃	〃	〃	資料整理
6	10. 1	月									〃	〃	〃	〃	打合せ (ENDE表決準備作業進捗確認、サイト空中写真撮影日程打合せ、ENDE提供機材確認及び資料収集)
7	2	火									〃	〃	〃	〃	
8	3	水	コヤバ	→	タリハ	→	パイキ	→	サイト	→	コヤバ				ベースキャンプ設置地状況確認及び、サイト空中写真。
9	4	木									〃	〃	〃	〃	
10	5	金													立石田更 移 動
11	6	土													大使館滞留報告
12	7	日													移 動
13	8	月													〃
14	9	火	コヤバ	→	タリハ										最終打合せ、タリハへ移動
15	10	水	タリハ	→	パイキ										食料調達後ベースキャンプに移動キャンプをキャンプを整備
16	11	木	パイキ	→	サイト										サイト調査前後、サイト前は移動キャンプに宿舎
17	12	金													着 査
18	13	土													〃
19	14	日													〃

日曜	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	指 配 地 等 別		調 査 内 容
					日 者	高 泊	
20	10.15	月		サ イ ト	乙	乙	踏 査
21	16	火		、	、	、	、
22	17	水		、	、	、	、
23	18	木		、	、	、	、
24	19	金		、	、	、	、
25	20	土		、	、	、	、
26	21	日	ハイチユ → コチヤバンバ	ハリコフター コチヤバンバ	、	、	移 動
27	22	月	コチヤバンバ	、	、	、	資 料 収 集
28	23	火	、	、	、	、	、
29	24	水	、	、	、	、	EMDE 打合せ
30	25	木	コチヤバンバ → ラ、パス	ラ パ ス	、	、	移 動
31	26	金	ラ パ ス	、	、	、	日本大使館、エネルギー省、改打合せ
32	27	土	ラ パ ス ^{21:45} → ^{21:35} ニューヨーク	ニ ュー ヨーク	指	指	移 動
33	28	日	^{12:50} ニューヨーク → ^{JL.025}	後 守	、	、	、
34	29	月	→ 東京 17:35		乙	、	、
				計	指 2 乙 2	指 1 乙 1	

(報告書説明)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指定2階等別		調 査 内 容
					日当	宿泊	
1	3.17.	月	16:45 東京 → 19:29 ニューヨーク → 21:00	機 中	乙	/	移 動
2	18	火	08:40 リマ → 12:30 → 15:05 パラス	ラ パ ス	イ	乙	リ 大使館表紙
3	19	水	07:00 ラパラス → 07:30 コクヤバンバ	コクヤバンバ	イ	イ	リ ENDE(ボリビア電力公社)にて中商報告書ドラフト説明
4	20	木		リ	イ	イ	ENDEにて中商報告書ドラフト説明及びホーリング契約手続き打合せ
5	21	金		イ	イ	イ	リ
6	22	土		イ	イ	イ	イ
7	23	日		イ	イ	イ	資料整理
8	24	月		イ	イ	イ	ENDEにてホーリング契約手続き終打合せ
9	25	火	07:35 コクヤバンバ → 8:05 ラパラス → 23:00 → 23:40 → 00:45 リマ	機 中	イ	/	移動、大使館へ帰国報告
10	26	水	08:40 リマ → 11:10 スペンゼルス	リ	リ	/	リ
11	27	木	19:50 東京	/	イ	/	イ
				計	乙=11	乙=7	

3. 調査業務支出経費総括表

(単位：円)

区 分		I調査旅費	II現地調査費	III資料及導線送費	IV報告書作成費	V技術費	VI附帯費	合 計
①計 画 額	事業団直営分	1,447,112	104,333	10,000	0	0	270,000	1,833,485
	コンサル契約分	3,898,000	1,046,000	668,000	1,050,000	25,030,000	0	31,707,000
	計	5,347,112	1,150,333	678,000	1,050,000	25,030,000	270,000	33,540,445
②支出実績額	事業団直営分	1,398,755	24,345	2,470	0	0	98,435	1,524,005
	コンサル契約分	3,750,000	257,000	31,000	1,050,000	24,780,000	0	29,868,000
	計	5,148,755	281,345	33,470	1,050,000	24,780,000	98,435	31,392,005
③差 引 額 (①-②)	事業団直営分	50,357	79,988	7,530	0	0	171,565	309,440
	コンサル契約分	148,000	789,000	652,000	0	250,000	0	1,839,000
	計	198,357	868,988	659,530	0	250,000	171,565	2,148,440

(コンサルタ卜契約分内訳)

コンサルタント名	①計 画 額	②支出実績額	③差 引 額 (①-②)
電 源 南 産(株)	31,707,000	29,868,000	1,839,000

4 調査業務支社内訳

I 調査旅費

5,148,755円

⑧コンサルタント契約分

No	団員名 (担当)	格付 (号)	日数 (月/日~月/日)	航空賃	支度料	滞 在 費				リムジバス	旅行雑費	合 計				
						地域	単価	日数	計				地域	単価	日数	計
1	榎並 教夫 (総 括)	1	34 (9/26~10/29)	527,900	94,910	指 甲 乙	4,900 4,200 3,800	32 1 32	130,500 *130,600	指 乙	14,600 11,400	1 31	368,000 *366,100	0	1,356	120,266
2	' (')	1	11 (3/17~3/28)	561,600	9,770	甲 乙	4,200 3,800	1 10	42,200	乙	11,400	7	79,800	0	0	693,370
3	茂野 潤一 (土 木)	5	34 (9/26~10/29)	527,900	16,362	指 甲 乙	4,000 3,500 3,200	1 1 32	109,900 *109,400	甲 乙	12,500 9,800	1 31	316,300 *314,700	0	0	968,362
4	山田 守 (地 質)	5	34 (9/26~10/29)	527,900	16,362	"	4,000 3,500 3,200	1 1 32	109,900 *109,400	甲 乙	12,500 9,800	1 31	316,300 *314,700	0	0	968,362
	計			2,145,300	137,404				391,000				1,075,300	0	1,356	3,750,350
														1000円未満切捨		3,750,000

注※は帰路変更に伴う超過分：コンサル負担。

⑨ 直費分

1	直石 勝 (業務調整)	5	15 (9/26~10/10)	527,900	13,425	乙 指	3,200 4,600	13 2	49,600	乙 甲	9,800 12,500	11 1	120,300	3,800	3,663	718,738
2	' (')	5	11 (3/17~3/28)	561,600	6,737	乙	3,200	11	35,200	乙	9,800	7	68,600	3,800	4,080	680,017
	計			1,089,500	20,212				84,800				188,900	7,600	7,743	1,398,255
															① + ⑧	5,148,755

II 現地調査費 281,345円

(円)

費目	直営分	工中以外分	計
① 交通費	6,425	40,583	47,008
② 通信運搬費	4,905	157,282	161,987
③ 資材等購入費		128,587	128,587
④ 会議費	9,994		9,994
⑤ 雑費	636		636
⑥ 外貨交換手数料		10,356	10,356
⑦ 交換差損	2,585	△79,400	△76,815
計	24,345	257,408 (注) 257,000	281,345

(注) 1000円未満切捨後額

III 資材等購入費 33,470円

(円)

費目	直営分	工中以外分	計
① 資材送料		31,000	31,000
② 消耗品等購入費	2,470		2,470
計	2,470	31,000	33,470

IV 報告書作成費 1,050,000円

費目	工中以外分
① 報告書原稿作成費	220,000
② 印刷製本費	830,000
計	1,050,000

V 技術費 2,780,000円

① 現地調査

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	実績額		
		日数(日)	人	金額(円)
1	33,100	34 × ^{23日} / _{30日}	1	862,806
5	16,300	34 × 4	2	849,772
計				1,712,578

② 図内設計作業

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	実績額	
		人・日	金額(円)
1	33,100	23日 × 3	2,283,900
2	30,000	" × 3	2,070,000
3	25,400	1 × 1	584,200
5	16,300	1 × 4	1,497,600
計			6,437,500

㉔ 現地報告書説明

区分 格付(%)	単価(人・日) (円)	日数(日)	人	金額(円)
1	33,100	11 × $\frac{23日}{30日}$	1	279,143

技術費合計 (各項目を1000円未満切捨)

費目	金額(円)
(1) 直接人件費(A)+(B)+(C)	8,429,000
(2) 諸経費(1) × 110%	9,271,000
(3) 技術経費{(1)+(2)} × 40%	7,080,000
合計(1)~(3)	24,780,000

Ⅵ 附 帯 費 98,435円

費目	金額(円)
会議費	98,435

国名		チュニジア共和国			
プロジェクト名		チュニジア共和国火力発電計画調査			
		Feasibility Study for Thermal Power Development in the Republic of Tunisia			
調査期間	調査団長	氏名	三 岡 雅 士	総支出経費	JP 857.50万円
		所属	電源開発 (株)	調査の種類	実施調査、国内作業、説明、報告書作成
	調査団員数		6名 (2名)	計画申請	54.9.21 国協 (総計) P-36号
	現地調査期間		54年7月29日 ~ 10月20日 (22日)	計画承認	54.9.30 54通オ 1573号
	報告書説明期間		55年3月8日 ~ 3月18日 (11日)	調査完了日	55年3月31日
使用コンサルタント名		電源開発 (株)		担 当	資源調査課 末 森

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

チュニジア現行の5次5ヶ年計画 (1977 - 1981年) の最中にあるが、次の第6次5ヶ年計画 (1982 - 1986年) を対象とした電力需要予測によるとピークの年平均伸び率は 12% ~ 14% と予想されており 1977年のピーク 320 MW は 1985年には 870 MW 以上に増大するものと予想されている。これに対して 1984年時点の保証出力は 920 MW 見込みであり系統予備力 (20%) を考えると 1984/85年時点でベース供給力として 150 MW の火力発電の増設が必要となる。この火力の設置地点として チュニジア電力ガス公社 (STEG) があてている候補地点は、スース、ビセルテ、ラテイヌス7アックスの4ヶ所がある。この4ヶ所地点のうち 工事費、維持費等の面からすれば 現在 1-2号機工事中のスースを選ぶのが最も適当と思われるが、電源の1ヶ所集中に伴う各種要素を考慮する必要があるため今次投入される 150 MW の火力発電の設置地点を電力系統安定強化の観点で選定するため 日本の技術協力

を得たい旨の要請がチュニジア政府よりあり、これを受けて本件フィジビリティ調査を実施したものである。

(2) 結論及び報告 (調査結果)

- 1) 立地候補地点として、Rades、Bizerte 及び Sfax の3地点について、地表調査結果及び必要な諸条件を検討した結果、Rades 地点が最適地点として選定された。
- 2) 電力需要想定 (1982 ~ 86年) から 1983/84年に ガスタビン (20 ~ 30 MW x 5台) を、また 1985/86年に火力発電所 (150 MW x 2基) を建設するのが適当である。
- 3) 発電設備増強計画並びに 1982年及び 1986年時点の需要に基づく系統解析の結果、Rades 案であれば 送電環 (225 KV x 45km) 交電所 (100 MVA x 2台) を 1982 ~ 86年に設備増強する必要はある。
- 4) 発電変電設備増強計画 (Rades 案) の概算工事費 (1979.10 現在) は 88.990×10^3 デュニジア ディナール (約 507億円) と見積られる。

2. 日程表 (現地調査)

日順	月日	曜日	行	経	宿泊地	自甲-2地等別		調査	内容		
						日当	宿泊				
1	9・29	土	東京	AF 273	後中	乙					
2				パリ	パリ	指	指				
3	10・1	月	パリ	AF 2701	テュニス	乙	乙		日本大使館表敬		
4	2	火				乙	乙		(前) STEG (テュニジヤ 電力ガス公社) と目録打合せ (後) ラケット発電所及びナツセン発電所視察		
5	3	水				乙	乙		ラテス火力計画地点調査、資料収集		
6	4	木	テュニス	→ スース	スース	乙	乙		スース、及びムサウケン発電所視察		
7	5	金	スース	→ スファックス → テュニス	テュニス	乙	乙		スファックス、及びスファックスガスタービン、発電所視察		
8	6	土				乙	乙		資料整理		
9	7	日				乙	乙				
10	8	月	テュニス	→ ビゼルテ → テュニス		乙	乙		ビゼルテ火力計画地点調査及びメンセルブルギア発電所視察		
11	9	火				乙	乙		STEGと打ち合せ、資料収集		
12	10	水	テュニス	→ ウェドザングア → カセブ → テュニス		乙	乙		ウェドザングア発電所、及びカセブ計画地点視察		
13	11	木	(未定のみ)	テュニス → ^{KL 5P2} アムステルダム	アムステルダム	乙	甲	乙	甲	(午前) STEG と打ち合せ (午後) ラケット及びム=エラ発電所視察	(未定のみ) 移動
14	12	金	アムステルダム	SK 552	後中	乙	乙		資料収集		
15	13	土		東京 JL 432		乙	乙		中間報告書とりまとめ	厚目	
16	14	日			テュニス	乙	乙				
17	15	月				乙	乙				
18	16	火				乙	乙		STEG と打ち合せ、追加資料収集		
19	17	水				乙	乙		STEG へ中間報告書提出、総合打ち合せ、大使館へ報告		

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指 甲・乙 特 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
20	18	木	テユ=ス $\xrightarrow{10/190}$ ロンドン	ロンドン	甲	甲	移 動
21	19	金	ロンドン $\xrightarrow{JL442}$	機 中	・		・
22	20	土	東京		乙		帰 国

(報告書説明)

日順	月日	曜日	行 程	宿 泊 地	指 甲・乙 特 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	3・8	土	東京 $\xrightarrow{JL442}$ パリ	パ リ	指	指	移 動
2	9	日	パリ \rightarrow テユ=ス	テユ=ス	・	乙	・
3	10	月		・	乙	・	大 使 館 表 敬・STE G に て 日 産 打 ち 合 せ
4	11	火		・	・	・	調 査 報 告 書 (案) を STE G (テ ュ = ジ ャ 電 力 ガ ス 公 社) へ 提 出
5	12	水		・	・	・	を STE G へ 説 明 及 び 討 議
6	13	木		・	・	・	・
7	14	金		・	・	・	・
8	15	土		・	・	・	・ 大 使 館 へ 帰 国 報 告
9	16	日	テユ=ス $\xrightarrow{AZ382}$ アムステルダム	アムステルダム	甲	甲	移 動
10	17	月	アムステルダム $\xrightarrow{\quad}$	機 中	甲		・
11	18	火	東京		乙		帰 国

3 調査業務支出経費内訳表

(単位:円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 資料採集費	IV 報告書作成費	V 技術費	VI 附帯費	合 計
① 計 重 額	事業団直営分	839,175	66,054	10,000	0	0	263,500	1,178,729
	コンサル契約分	6,727,000	514,000	727,600	2,407,000	22,943,000	0	33,818,000
	計	7,566,175	580,054	737,600	2,407,000	22,943,000	263,500	37,996,729
② 支出実績額	事業団直営分	835,675	52,424	7,470	0	0	110,734	1,006,503
	コンサル契約分	6,607,000	496,000	0	2,407,000	22,346,000	0	37,851,000
	計	7,442,675	548,424	7,470	2,407,000	22,346,000	110,734	38,857,503
③ 差 引 額 (① - ②)	事業団直営分	5,500	13,630	2,530	0	0	152,566	172,226
	コンサル契約分	125,000	18,000	727,600	0	597,000	0	967,000
	計	128,500	31,630	729,530	0	597,000	152,566	1,139,226

(コンサルtant契約分内訳)

コンサルtant名	① 計 重 額	② 支 出 実 績 額	③ 差 引 額 (① - ②)
電 源 開 発 (株)	38,818,000	37,851,000	967,000

4 調査業務支出の内訳

I 調査旅費

2,437,675 円

⑧ コンサルタント契約分

No	団員名 (担当)	格付 (級)	日数 (月/日~月/日)	航空費	支度料	滞在費						リムジンバス	旅行雑費	合計		
						日			宿						計	
						地域	単価	日数	地域	単価	日数					
1	三国雅士 (総括)	1	22 (9/29~10/10)	635,100	78,160	指 甲 乙	4,700 4,700 3,800	2 2 18	86,200	指 甲 乙	14,800 12,700 11,400	1 1 17	221,100	1,900	2,200	1,024,160
2	小林晋郎 (経済分析(電気関係))	1	22 (9/29~10/20)	635,100	19,540	11	4,700 4,200 3,800	2 2 18	86,200	11	14,800 12,700 11,400	1 1 17	221,100	1,900	6,500	970,340
3	伊賀清二 (土木)	4	22 (9/29~10/20)	635,100	61,990	11	4,000 3,500 3,200	2 2 18	72,600	11	12,500 10,900 9,200	1 1 17	190,000	0	3,300	962,990
4	遠藤清雄 (電気(環境))	4	22 (9/29~10/20)	635,100	61,990	11	4,000 3,500 3,200	2 2 18	72,600	11	12,500 10,900 9,200	1 1 17	190,000	1,900	3,300	986,090
5	井上晋郎 (電気(電力系統調))	4	22 (9/29~10/20)	635,100	61,990	11	4,000 3,500 3,200	2 2 18	72,600	11	12,500 10,900 9,200	1 1 17	190,000	3,300	3,300	966,790
6	三国雅士 (総括(火力発電))	1	11 (3/8~3/18)	679,400	9,770	11	4,700 4,200 3,800	2 2 7	44,400	11	14,800 12,700 11,400	1 1 7	107,100	3,200	1,500	845,970
7	小林晋郎 (経済分析)	1	11 (3/8~3/18)	679,400	9,770	11	4,700 4,200 3,800	2 2 7	44,400	11	14,800 12,700 11,400	1 1 7	107,100	3,200	1,500	845,970
	⑧ 合計			4,534,300	302,210				377,000				1,226,400	17,100	21,600	6,802,810
直営分												1000円未満切捨		6,602,600		
1	末森清 (業務調整)	5	15 (9/29~10/13)	645,320	134,75	指 甲 乙	4,000 3,500 3,200	2 2 11	30,700	指 甲 乙	12,500 11,900 9,800	1 1 10	221,400	3,800	1,500	835,675
												① + ②	7,437,675			

II 現地調査費 548,424円

(円)

費目	直営分	コンサルタ分	計
① 車輦着借上費		113,215	113,215
② 通信運搬費	6,777	136,340	143,117
③ 資料及び購入費		59,586	59,586
④ 現地報告書作成費		180,525	180,525
⑤ 会議費	45,940		45,949
⑥ 外貨交換手数料		5,080	5,080
⑦ 交換差損	△302	1421	1,119
計	52,424	496,000 (注)	548,424

II 資料及び購送費 7,470円

費目	直営分
消耗品等購入費	7,470

IV 報告書作成費 2,407,000円

費目	コンサルタ分
① 報告書原稿作成費	500,000
② 印刷製本費	1,907,000
計	2,407,000

(注) 1,000円未満切捨て後繰。

V 技術費 28,346,000円

④ 現地調査

区分 格付(%)	単価(人・日) (円)	日数 (日)	人	金額(円)
1	33,100	22日 ^{23日} / _{30日}	2	1,116,572
4	20,300	22日	3	1,027,179
			計	2,143,751

⑧ 目内設計作業

区分 格付(%)	単価(人・日) (円)	人・日	金額(円)
1	33,100	23日×70	2,613,000
3	25,400	11日×475	2,774,950
4	20,300	1日×20	3,288,300
		計	6,804,550

◎ 現地報告書説明

区分 格付(号)	単価(人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
1	23,100	11 x $\frac{23日}{31日}$	2	558,286

直接経費	
費目	金額(円)
電算機使用料	400,000

技術費合計 (各費目とも1000円未満切捨)

費目	実績額(円)
(1) 直接人件費(④+⑤+⑥)	9,506,000
(2) 諸経費(1)×110%	10,456,000
(3) 技術経費{(1)+(2)}×40%	7,984,000
(4) 直接経費	400,000
合計(1)~(4))	28,346,000

VI 附帯費 110,934円

費目	金額(円)
会議費	51,250
報告書送付	59,684
合計	110,934

No 54-45

国名		チリ共和国			
プロジェクト名		和	プチユルテイサヒ熱泉開発調査(第2次)		
		外	Pre Feasibility Study for the Puchuldiza Geothermal Development Project (2nd Stage) in the Republic of Chile		
調査団	団長	氏名	坂井定倫	総支出経費	25,168,928円
		前属	大手洞発株式会社	調査の種類	実地調査、国内作業
	調査団員数		4名	計画申請	54.8.30 国筋(知計)チ8-76号
	現地調査期間		54.10.24 ~ 54.12.17	計画承認	54.9.20 54洞発 1597号
使用コンサルタント名		大手洞発(株) 日産探削(株) ミネ全高エンジニアリング(株)		調査完了日	55.12.31
				担当	泉源調査課 竹本

1. 調査の概要

(1) 調査目的・調査内容

チリ政府は、プチユルテイサヒ地区の地熱開発調査の要請をした。日本政府はこれに答えて、1978年11月~12月に調査団を派遣して、地質、物理探査を行い、国産探削により地熱貯留層の探査、開発を考察し、次に行われるべき調査井の位置、掘削深度も決定した。

チリ国産探削公社(CORFO)は、この報告により54年10月より調査井掘削を計画し、この掘削により得られる地質、温度、圧力等の諸データの同時は前年度の表面調査結果と測量を有し、地熱貯留層の圧縮度の高い帯域に達することから、日本に対しこの決意の通告を求めた。

そこで、CORFOの実施する掘削データの解析と前年度の測定として、南北方向の電気探査を実施して貯留層の南北方向の厚さの推察を行うこととした。

(2) 帯給及び報告(調査結果)

CORFOの掘削計画が遅延したため、54年度内で地熱貯留層に到達しなかつた事柄から、電気探査の解析のみを行った。

南東の東面2本の測線(6m x 2本)とひきつづき南北方向に6km x 2本が実施した。この結果北に延びる傾斜帯が推察された。

掘削調査井ゲオ1-N0.5の環状が自然停止したので原因究明を行い、対策を指導した。

調査している調査井の掘削計画について、ケーシングプログラムの改善、冷水流入の防止、検査による貯留層の観測の重要性につき指導した。

(3) その他(今後のフォロー)

55年度のCORFOの掘削計画をみて、調査団を派遣し検査を行い、地熱貯留層の評価報告を作成する必要がある。

2 日 程 表

日 順	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	船 名 等 別		調 査 内 容
					日 当	指 泊	
1	10.24		成田発 FL062 17:20 → ロスアンゼルス着 11:00	ロスアンゼルス	甲	甲	出 発
	25		ロスアンゼルス発 BN 925 17:00	機 中	甲	甲	移 動
	26		→ サンチアゴ着 9:30	サンチアゴ	乙	乙	〃
	27			〃	〃	〃	大扶島、CORFO 表決打合
5	28	日		〃	〃	〃	調査準備
	29			〃	〃	〃	調査打合 資料購入
	30		サンチアゴ → イケキ	イケキ泊	〃	〃	移 動
	31			〃	〃	〃	戻 帰
	11. 1		イケキ → チュスミサ	チュスミサ泊	〃	〃	移 動 高尾岬
10	2		チュスミサ → プチコルデイサ	プチコルデイサ泊	〃	Z108	キャンプ入
	3			〃	〃	〃	開拓、現地調査
	4	日		〃	〃	〃	電気調査
	5			〃	〃	〃	〃
	6			〃	〃	〃	〃
15	7			〃	〃	〃	〃
	8			〃	〃	〃	〃
	9			〃	〃	〃	〃
	10			〃	〃	〃	〃
	11	日		〃	〃	〃	〃
20	12			〃	〃	〃	〃
	13			〃	〃	〃	〃
	14			〃	〃	〃	〃

日項	月日	曜日	行	履	自治地	指・甲・乙等別		訓	登	内	容
						日当	座泊				
	15				プチュルデイ	乙	2x18				電気探査
	16				〃	〃	〃				〃
25	17				〃	〃	〃				〃
26	11.18	日	団長 成田 発	PA 500 → ニューヨーク 着	プチュルデイ	乙	2x18	団長	移動		電気探査
	19			ニューヨーク 発 → LA 141	〃	途中	〃	〃	〃		移動
	20			→ サンチアゴ 着	〃	サンチアゴ	乙	乙	乙		移動
	21			プチュルデイ → イキケ	イキケ	乙	乙	乙	乙		挨拶 団員下山
30	22				〃	〃	〃	〃	〃		方針打ち合 整理・計算
	23				〃	〃	〃	〃	〃		〃
	24			サンチアゴ → イキケ → チュスミサ	チュスミサ	乙	乙	乙	乙		移動 団長と合流 打ち合
	25	日		チュスミサ → プチュルデイ	プチュルデイ	乙	2x18				キャンプへ移動
	26				〃	〃	〃				電気探査 電池補充
35	27				〃	〃	〃				〃
	28				〃	〃	〃				〃
	29				〃	〃	〃				〃
	30				〃	〃	〃				〃
	12.1				〃	〃	〃				〃
40	2	日			〃	〃	〃				〃
	3				〃	〃	〃				〃
	4			プチュルデイ → イキケ	イキケ	乙	乙				下山
	5				〃	〃	〃				整理・計算
	6				〃	〃	〃				〃
45	7				〃	〃	〃				挨拶

日 号	月 日	曜 日	行 程	宿 泊 地	自・甲乙別等別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
	12	8	イキケ → サンチアゴ	サンチアゴ	乙	乙	移 動
		9		〃	〃	〃	登 壇、 報告書作成
		10		〃	〃	〃	〃
		11		〃	〃	〃	〃
50		12		〃	〃	〃	〃
51		13		〃	〃	〃	帰国挨拶、報告会
		14	サンチアゴ発 → LA/56	機 中	〃	〃	移 動
		15	マイアミ → ビューストン → サンフランシスコ NA/193	サンフランシスコ	指	指	〃
		16	サンフランシスコ発 LA/001	機 中	指	〃	〃
55		17	成田着		乙	〃	帰 国

3. 調査業務支出経費総括表

(単位:円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資料等 原 送 費	IV 報告書作成費	V 技術費	VI 附 帯 費	合 計
① 計画額	事業団直営分	0	0	0	0	362,500	362,500
	コンサル契約分	4,488,000	1,941,000	1,941,000	2,500,000	20,994,000	31,864,000
	計	4,488,000	1,941,000	1,941,000	2,500,000	20,994,000	32,226,500
② 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	200,928	200,928
	コンサル契約分	4,488,000	1,502,000	1,646,000	300,000	17,032,000	24,968,000
	計	4,488,000	1,502,000	1,646,000	300,000	17,032,000	25,168,928
③ 差引額 (① - ②)	事業団直営分	0	0	0	0	161,572	161,572
	コンサル契約分	0	439,000	295,000	2,200,000	3,962,000	6,896,000
	計	0	439,000	295,000	2,200,000	3,962,000	7,057,572

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	1 計画額	2 支出実績額	3 差引額 (① - ②)
共同企業体外資会社 大手商社(株)	31,814,000	24,968,000	6,846,000

4 調査業務支出の内訳

1 調査旅費 4,488,000円

④ コンサルタント分契約

(単位：円)

No	団員名 (担当)	期日 (号)	日数 (月/日~月/日)	航空賃	支度料	日 当 在 着						リムジンバス	旅行雑費	合 計		
						混雑	単価(円)	日数	計(円)	混雑	単価(円)				日数	計(円)
1	坂井定倫 (総括(見直し))	1	30日 (11/18~11/17)	544,000	19,540	指 乙	4,700 3,800	2 28	115,800	指 乙 90%	14,600 11,400 9,120	2 15 9	282,280	3,800	8,335	973,755
2	坂部 旭 (初査探査)	3	55日 (11/21~12/17)	544,000	20,045	指 甲 乙	4,000 3,500 3,200	2 2 51	178,200	指 甲 乙 90%	12,500 10,900 9,500 7,840	1 1 21 28	448,720	3,800	6,978	1,201,743
3	黒沢昌志 (視覚探査 検査)	4	55日 (11/24~12/17)	544,000	18,817	"	4,000 3,500 3,200	2 2 51	178,300	"	12,500 10,900 9,800 7,840	1 1 21 28	448,720	3,800	6,918	1,199,455
4	立川 三郎 (電気探査)	6	55日 (11/24~12/17)	544,000	66,150	"	3,400 3,000 2,700	2 2 51	150,500	"	10,400 9,100 8,200 6,560	1 1 21 28	375,380	3,800	6,978	1,146,108
	B 計			2,176,000	123,852				623,760				1,555,100	15,200	28,209	4,521,661
																計 4,488,000

1 日の日当、着泊は、ニューヨーク、サンフランシスコ各1泊のため、4、5日の日当、着泊は、ロスアンゼルス、サンフランシスコ各1泊、及び民営着泊28泊、その差はこれのため、差額を生じた、

(差額はコンサル負担)

II 見込割合負

1,502,000円

(円)

負 目	コンパルタ分
① 車物等借上費	585,710
② 交 通 費	288,060
③ 通信運搬費	629,448
④ 資機材等購入費	281,456
⑤ 外貨交換手数料	19,218
⑥ 文 庫 差 益 戻	211
計	1,502,103 (注) 1,502,000

(注) 1000円未満切捨後額

III 資機材等購送費

1,646,000円

(円)

負 目	コンパルタ分
① 資機材等購入費 及び送料	859,878
② 資機材送料	786,194
計	1,646,672 (注) 1,646,000

IV 報告書作成費

300,000円

(円)

負 目	コンパルタ分
① 報告書原稿 作成費	300,000

V 技術費

17,082,000 円

① 現地調査			
区分 格付号	単価(人・日) (円)	日数 (日)	金額 (円)
1	33,100	23日 30日 × 1	761,789
3	25,400	23日 55日 × 1	1,071,033
4	20,300	53日 55日 × 1	865,983
6	11,900	23日 55日 × 1	501,783
計			3,190,088

② 国内設計作業			
区分 格付号	単価(人・日) (円)	人・月	金額 (円)
1	33,100	23日 × 0.5	380,650
2	25,400	23日 × 1.5	876,300
3	20,300	23日 × 1.5	760,350
4	11,900	23日 × 2.0	547,100
計			2,564,700

直接経費	
項目	金額 (円)
電報使用料	291,000

技術費合計 (各項目とも1,000円未満切捨て)

項目	実績額(円)
(1) 直接人件費(A)+(B)	5,694,000
(2) 諸経費(1)×110%	6,263,400
(3) 技術経費{(1)+(2)}×40%	4,783,000
(4) 直接経費	291,000
合計(1)~(4)	17,032,000

Ⅵ 附 帯 費

200,928円

項目	金額(円)
① 会議費	62,540
② 備入費	138,388
合計	200,928

国名	ドミニカ、ウルグアイ、エクアドル		総支出経費	4,023,942 円
プロジェクト名	和	中南米諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	調査の種類	事前調査、国内作業、報告書作成
	外	Japanese Technical Cooperation project Identification Team for mining industry and power development in Latin American Countries	計画申請	54.10.1 国協(総計) 9-94号
調査団	団長氏名	吹野 任男	計画承認	54.10.13 54通才 1730 号
	所属	通商産業省政策局技術協力	調査完了日	55.2.28
	調査団員数	3名	担当	鉱工業計画課 中村
	現地調査期間	54.10.17 ~ 54.11.13		
使用コンサルタント名	(社) 海外コンサルティング企業協会			

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ドミニカ、ウルグアイ、エクアドルの3カ国に対する鉱工業関係の協力を効率的に実行するため、要請プロジェクトについてその背景及び位置づけを調査し、実施可能プロジェクトの選定確認を行った。

なお、エクアドルについては、企画部派遣カアロフアイ・ミッションに参加し実施した。

イ. 対象国の経済開発計画 鉱工業関係の開発計画の内容及び進捗状況の調査

ロ. 対象国の鉱工業プロジェクトのうち、我が国に技術協力を要請された案件の内容調査

① ドミニカ：サントドミンゴ市配電網計画

② ウルグアイ：紙パルプ産業振興計画

ハ. 我が国が協力可能な鉱工業関係プロジェクトの選定確認

(2) 結論及び勧告(調査結果)

イ. ドミニカ：サントドミンゴ市配電網システム近代化計画に關し、作業を作成した。ドミニカ側は、JICAの既報告書をもとに日本のみならず国際復興地帯政府に資金援助を求め、早急に本計画を建設段階に移す予定である。

ロ. ウルグアイ：紙パルプ産業振興計画に關し、詳細な討議をすると共に他案件についての事情聴取を行った。主な案件：①セメント開発、②Black sand、③magnol 計画

ハ. エクアドル：新しく設立された開発評議会を中心として、1980年から実施予定の新「5カ年計画(1980~1984)」の策定が進められており、日本からの協力の形態の内容は、プロジェクトのF/Sがほとんど終了している為、融資もしくは資本参加である。案件は①直接還元製錬所、②セメント生産、③紙パルプ生産 等30件であったが、日本側から全案件に対して協力することは不可能であり、又全てのプロジェクトに日本の民間企業が関心をいだくことはあり得ない旨報告した。

(3) その他(今後フォロー)

ドミニカ 「サントドミンゴ市配電網」に關し、1980年2月に「現地調査」を派遣することとし、既調査開始後、8ヶ月以内に報告書を作成する予定

2. 日程表

日順	月日	曜日	行 程	宿泊地	指 甲・2地等別		調 査 内 容
					日 当	落 白	
1	10.17	水	東京 → ニューヨーク PA800	ニューヨーク	指	指	移動
2	18	木	ニューヨーク → サントドミンゴ AA587	サントドミンゴ	指	乙	大使館と打合せ
3	19	金		"	乙	"	大後領事技術所, 電力公社(CDE)訪問, 打合せ
4	20	土		"	"	"	JICA支部と打合せ
5	21	日		"	"	"	資料整理
6	22	月		"	"	"	CECと打合せ
7	23	火	サントドミンゴ → マリアーリ行先不明 EA948 PA803	機 中	"	/	「F」大使館, JICA支部へ報告
8	24	水	リ行先不明 → モンテウイデオ SC934	モンテウイデオ	"	"	「G」大使館と打合せ
9	25	木		"	"	"	技術研究所(LATU), 工業エネルギー省, 訪問
10	26	金	モンテウイデオ → フェリスアイル LA126	フェリスアイル	"	"	企画調整所訪問
11	27	土	フェリスアイル → キトー EU042	キトー	"	"	移動
12	28	日		"	"	"	「E」大使館と打合せ, 木村産出企業と懇談
13	29	月		"	"	"	外務省, 国家開発評議会等と打合せ
14	30	火		"	"	"	工業開発センター(CENDES), 外務省, 国家開発評議会と打合せ
15	31	水	キトー → グアヤキル EU203	グアヤキル	"	"	グアヤキル市交通委員会訪問
16	11.1	木	グアヤキル → ロスアンゼルス BN922	ロスアンゼルス	甲	甲	} 移動
17	2	金	ロスアンゼルス	機 中	甲	/	
18	3	土	→ 東京 PA001	/	乙	/	

(注) CDE: Corporacion Dominicana de Electricidad
 LATU: Laboratorio Tecnológico Del Uruguay

4. 調査業務支出経費内訳表

区分	区分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 復検等環境費	IV 報告書作成費	V 技術費	VI 附帯費	△ 計
① 計画額	事業団直営分	2,511,394	224,220	30,000	300,000	0	252,000	3,317,614
	コンサル契約分	0	0	0	0	1,096,000	0	1,096,000
	計	2,511,394	224,220	30,000	300,000	1,096,000	252,000	4,413,614
② 支出実績額	事業団直営分	2,498,272	138,860	23,150	103,000	0	114,660	2,927,942
	コンサル契約分	0	0	0	0	1,096,000	0	1,096,000
	計	2,498,272	138,860	23,150	103,000	1,096,000	114,660	4,023,942
③ 差引額 (①-②)	事業団直営分	13,122	85,360	6,850	197,000	0	87,340	389,672
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0
	計	13,122	85,360	6,850	197,000	0	87,340	389,672

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 計画額	② 支出実績額	③ 差引額(①-②)
(社) 海外コンサルティング企業協会	1,096,000	1,096,000	0

4. 調査業務支出の内訳

1. 調査旅費

(④直営分) 2498,272円

(単位：円)

No.	氏名 (担当)	格別 (号)	日数 (月～月/日)	旅費	欠度料	日 当			宿 泊			バス	旅行雑費	合 計
						指 単価(円)	日数	計 (円)	指 単価	日数	計 (円)			
1	牧野 征男 (総 括)	4	18 (10/7～11/3)	581,400	61,990	指 4,000	2		指 12,500	1		3,800	9,626	867,416
						甲 3,500	2		甲 10,900	1				
						乙 3,200	14	59,800	乙 9,800	13	150,800			
2	大橋 英雄 (業務調整・臨時) 会計役	3	18 (10/7～11/3)	581,400	16,507	" 4,000	2		" 12,500	1		1,900	3,826	814,233
						" 3,500	2		" 10,900	1				
						" 3,200	14	59,800	" 9,800	13	150,800			
3	永田 昌明 (コンサルタント) アドバイザー	4	18 (10/7～11/3)	581,400	15,477	" 4,000	2		" 12,500	1		3,800	5,326	816,623
						" 3,500	2		" 10,900	1				
						" 3,200	14	59,800	" 9,800	13	150,800			
	④ 計			1,744,200	93,974			179,400			452,400	9,500	18,778	2,498,272

II 現地調査費 138,860 円

費 目	直 営 分
① 車輿等借上費	31,979
② 通信運搬費	8,286
③ 資機材等購入費	378
④ 会 議 費	97,103
⑤ 外貨交換手数料	2,261
⑥ 交換差 益損	△1,057
計	138,860

III 資機材等購送費 23,150 円

費 目	直 営 分
消耗品等購入費	23,150

IV 報告書作成費 103,000 円

費 目	直 営 分
印刷製本費	103,000

V 技術費 1,096,000円

④ 現地調査				
区分 格付号	単価(人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
4	20,300	18	1	280,140
		計		280,140

⑤ 国内設計作業			
区分 格付号	単価(人・日) (円)	人・月	金額 (円)
4	20,300	23 $\frac{10}{30}$	155,633
		計	155,633

技術費合計 (各費目とも1,000円未満は捨乙)

費目	実績額(円)
(1) 直接人件費(④)+(⑤)	435,000
(2) 諸経費(1) × 80%	348,000
(3) 技術経費{(1)+(2)} × 40%	313,000
合計(1)~(3))	1,096,000

VI 附帯費 164,660円

費目	金額(円)
① 交通費	17,570
② 会議費	18,240
③ 環状机等購入費	45,000
④ 印刷費	83,850
合計	164,660

国名		ドミニカ共和国			
プロジェクト名		ドミニカ共和国サンクトミンゴ市配電網改修拡張計画事前調査			
		Preliminary Survey for Modernization of Electric power Distribution System in the city of Santo Domingo, Dominican Republic			
調査団	団長	氏名	牧野征男	総支出経費	5,641,435円
		所属	通産省技術協力課	調査の種類	事前調査 国内作業・報告書作成
	調査団員数		2名	計画申請	54.10.1 国函(敏計)才9-74号
	現地調査期間		54.10/4 ~ 54.10/27	計画承認	54.10.13 54通才 1730号
				調査完了日	55.1.31
依頼コンサルタント名		西日本技術開発(株)		担当	資源調査課 木森

1. 調査の概要

(1) 調査目的・調査内容

54年5月16日付公信和23号にて、外務省より口上書をもって、サンクトミンゴ市配電網近代化のためのF/S及び実施設計の要請があった。本件については計画内容が不明であるが、事前調査を派遣することとし、現地の電力需給、電力施設計画等の電力事情、サンクトミンゴ市の電力事情、配電網の現状、改修、拡張計画について先方政府機関と協議、資料収集を行い、次につなげるべきF/Sの%を定めることとした。

(2) 調査内容

- (1) 現地調査
 - (イ) 本調査の%作業に必要な情報・資料収集
 - (ロ) 相手国の要請内容の把握、本調査%の立案
 - (ハ) 変電所配電ルート等の概略調査
- (2) 国内作業
 - (イ) 全国電力事情
 - (ロ) サンクトミンゴ市の配電現状及び拡張計画
 - (ハ) 本調査のための詳細%の作成及び概算
 - (ニ) 本調査の作業量及び予定価格積算のための基礎データ作成

1) 事前調査報告書の作成 上記(1)の口上書により報告書の作成

(2) 総論及び勧告(調査結果)

(1) ドミニカの電力事業の現況

「ド」国の電力事業を一貫して行っている Corporacion Dominicana de Electricidad (C.D.E.) は配電用変電所、本邦送配電線については直営で運行し、大型系統用変電所、発電所は外国工事に委託する方針である。また合理化政策については一応全部輸入する考えをもっている。

(2) S/W の概要

- 配電網現場調査、修復案の設計
- 電力需要予測 建設工事技術水準の調査
- 建設費積算 経済的フェジビリティ調査
- 工事計画決定

(3) その他(今後のフォロー)

* 55.2.13 ~ 3.7 上記 S/W に沿って調査実施

2. 日程表

日順	月日	曜日	行 程	宿泊地	指 示 地 等 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	10-14	日	東京 ^{AA800} ニューヨーク	ニューヨーク	指	指	移動
2	15	月	ニューヨーク ^{AA577} サントドミンゴ	サントドミンゴ	指	乙	大使館、電力会社と調査打合せ
3	16	火	サントドミンゴ	"	乙	乙	現地踏査、資料収集
4	17	水	"	"	乙	乙	"
5	18	木	"	"	乙	乙	"
6	19	金	"	"	乙	乙	"
7	20	土	"	"	乙	乙	"
8	21	日	"	"	乙	乙	資料整理、協議資料作成
9	22	月	"	"	乙	乙	現地踏査、資料収集、協議、資料収集
10	23	火	"	"	乙	乙	現地踏査、資料収集
11	24	水	"	"	乙	乙	"
12	25	木	サントドミンゴ ^{EA748} マイアミ	マイアミ	甲	乙	移動
13	26	金	マイアミ \swarrow PA0011	機 中	甲	/	"
14	27	土	\swarrow 東京	/	乙	/	"

3. 調査業務支出経費発生表

区	分	調査旅費	現地調査費	報告書作成費	技術費	附帯費	合計
① 計画額	事業田直営分	1,422,715	0	440,000	0	161,000	2,023,715
	コンサル契約分	0	147,000	0	3,925,000	0	4,072,000
	計	1,422,715	147,000	440,000	3,925,000	161,000	6,095,715
② 支出実績額	事業田直営分	1,422,715	0	117,000	0	158,720	1,698,435
	コンサル契約分	0	18,000	0	3,925,000	0	3,943,000
	計	1,422,715	18,000	117,000	3,925,000	158,720	5,641,435
③ 差引額 (① - ②)	事業田直営分	0	0	323,000	0	2,280	325,280
	コンサル契約分	0	129,000	0	0	0	129,000
	計	0	129,000	323,000	0	2,280	454,280

(コンサルタン卜契約分内訳)

コンサルタン卜名	①計画額	②支出実績額	③差引額(①-②)
西日本技術開発(株)	4,072,000	3,943,000	129,000

久 調査業務支出の内訳

I 調査旅費

(① 直管分)

1,422,715円

(単位:円)

No.	団員名 (担当)	格付 (号)	日数 (月日~月日)	航空賃	支度料 (円)	調査費				リムジンバス	国内旅費	旅行雑費	合計				
						地式	単価	日数	計					地式	単価	日数	計
1	松本 茂 (電力需給課)	1	54 (4日) (10/14~10/17)	東京=三ツノ7 -サントピア -マリエ-東京 409,200	39,080	指	4700	2	9400	指	14600	1	14,600		(63800)	10,115	713,380
						甲	4200	2	8,400	甲	12,700	1	12,700		57,885		
						乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	10	114,000				
									55,800								141,300
2	河野自治 (配電課)	2	54 (10/14~10/17)	409,200	35,035	指	4700	2	9,400	指	14,600	1	14,600		(63,800)	10,115	709,335
						甲	4,200	2	8,400	甲	12,700	1	12,700		57,885		
						乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	10	114,000				
									55,800								141,300
	計			818,400	74,175				111,600				282,600	0	115,770	20,230	1,422,715
	国内旅費算入 根拠					東京:障子往復 運賃 5300 } 15,300 x 2 = 30,600円 (時給 1900 x 9900) x 2 = 23600 = 54,200円 料金 2100 } 香川家の住所が福岡にあるため。											

Ⅱ 現地調査費

18,000 円

費 目	ヨソル外分
複製機等購入費	18,618
計	18,618

(注) 1,000円未満切捨後額

Ⅲ 報告書作成費

117,000 円

費 目	直 営 分
印刷製本費	117,000

Ⅳ 技術費

3,925,000 円

① 現 地 調 査				
区分 格付(号)	単価(人・日) 円	日 数 (日)	人	金 額 (円)
1	33,100	14x $\frac{238}{30}$	1	355,273
2	30,000	14x $\frac{218}{30}$	1	322,000
計				677,273

β 国内設計作業			
区分 格付(号)	単価(人・日) 円	人・月	金 額 (円)
1	33,100	23 ^B x 0.5	380,650
2	30,000	23 ^B x 0.5	345,000
計			725,650

技術費合計

(各費目とも1000円未満切捨)

賞目	実績額(円)
(1) 直接人件費(A)+(B)	1,402,000
(2) 諸経費(A)×100%	1,402,000
(3) 技術経費{(1)+(2)}×40%	1,121,000
合計(1)+(2)+(3)	3,925,000

V 附帯費

158,720円

賞目	金額(円)
印刷	158,720

国名		タイ王国			
プロジェクト名		和	タイ王国サムサコン工業団地計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Samutsakhorn Industrial Estate in the Kingdom of Thailand		
調査 団	調査団長	氏名	西多英治	総支出経費	36,340,746 円
		所属	(株) 地域計画連合	調査の種類	実地調査団内作業
	調査団員数		10 名	計画申請	54.10.16 国協(総計)オ10-27号
	現地調査期間		昭和55年2月4日～3月5日	計画承認	54.11.2, 54通オ 1950 号
使用コンサルタント名			(株) 地域計画連合	調査完了日	55.3.31
				担当	工業随課 中島

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本プロジェクトは、タイ王国のオク次国家社会経済開発5ヶ年計画に基づき、同国が計画している工業団地計画の一つである。本調査は、バンコック西方30kmのサムサコン地区に、近年急激の着しいバンコック首都圏の工場過密の状況を改善するため工業団地を建設計画するものであった。

本調査は、とりわけ「公営企業用」の工業団地を前段することを目的とし、調査の内容としては、サムサコン工業団地計画の基本分析として、タイ国経済開発計画に於けるサムサコン工業団地計画の位置及び意義を基本に置き、同団地の用地現況及び導入業種併せて立地分析を試みて工業団地計画の前段分析を実施して、タイ国社会経済開発への効果を測定するもので、その為の調査資料等の収集の表現も調査を実施した。

(2) 総論及び勧告(調査結果)

タイ側から工業団地のサイトとして、国道35号線沿い及び国道4号線沿

いについての可能性について検討の依頼があったが、国道4号線沿いは、タイ側MOTエリターチン浄化のため工場建設を認めないの方針が出されている。しかも適切な排水路の発見が困難であることから、バンコックの過密を解消し、サムサコン地区の都市開発を促す戦略的地域としての位置づけから考慮し、国道35号線沿いの「サイト5」がより適切な候補地であるとした。タイ側は、日本側が提示するサイトのケースについて検討したのち日本側へ連絡をすることになっており、それを受けて経済計算に入る予定である。

(3) その他(今後のフォロー)

55年度にて国内設計作業、英文ドラフトを以て報告書説明、最終報告書の完成。

2. 日程表

日順	月	日	行 程	宿 泊 地	指示・2地務別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	2	4	月 TG601 成田→バンコック	バンコック	2	2	移動(西多, 片山, 小林, 河村, 中島)
2	5	火	日本大使館, JICA事務所, DTEC, IEAT	"	"	"	表敬及び協議(SIWE案件)
3	6	水	CX501, 7/3, 成田→バンコック 事務所 日本大使館, JICA事務所	"	"	"	移動(中尾, 佐藤, 池川, 森積, 中島) SIWEに関する協議
4	7	木	事務所, 日本大使館 JICA事務所	"	"	"	事務所屋割り後参入バーの紹介, SIWEについて協議
5	8	金	サムリコン農方, サムリコン田代補地 アンバサダーホテル	"	"	"	マタロ知事表敬, 夕飯補地の視察, IEAT主催歓迎パーティー
6	9	土	ホテル	"	"	"	チーム打合せ
7	10	日	ホテル	"	"	"	チーム打合せ, 調査準備
8	11	月	バンクヤンIE, ラトクラバンIE, バンナーIE	"	"	"	良野工業団地の整備水準ならびに土地取得のための視察
9	12	火	事務所 大使館, 内務省, NESDB, 工業省, TOT テイクタイム, ソニエーション, アンバサダーホテル	"	"	"	SIWEに関する議事録署名, 資料情報収集, 答礼パーティー
10	13	水	事務所, BOI, 工業省 ESCAP, NESDB 環境省, PEWA, MWVA, 内務省	"	"	"	資料情報収集
11	14	木	事務所 NESDB, 内務省, 農業省, NRC, 工業省 EGAT	"	"	"	
12	15	金	事務所, 工業省, MHA, AIT, MWVA	"	"	"	
13	16	土	ホテル	"	"	"	資料整理, チーム打合せ
14	17	日	ホテル	"	"	"	チーム打合せ, 作業レポート作成
15	18	月	事務所	"	"	"	IEATとの合同協議
16	19	火	事務所 サムリコン農方, 内務省 PEWA, ター ン河原の交流(農研)	"	"	"	IEATとの協議, 資料情報収集

日順	月日	曜日	行程	宿泊地	宿中乙地等別		調査内容
					日当	宿泊	
17	20	水	事務所 農林省, 内務省, 通信省, ターミン河及び 支流(旅行)	バンコック	乙	乙	資料情報収集
18	21	木	事務所 JICA, 事務所 サムサコン東方, 市庁, タイス林, PwWA, サムサコン地企業	"	"	"	工業調査(サムサコン地域)
19	22	金	事務所 農林省, 内務省, 日本大使館, JICA 事 務所, バンコックの企業	"	"	"	JICA, 大使館に対する報告
20	23	土	事務所	"	"	"	資料整理, 作業レポート
21	24	日	事務所	"	"	"	作業レポート
22	25	月	事務所, バンコックの企業	"	"	"	IEATとの合同協議, 情報収集, 工業調査
23	26	火	事務所 保健省, 内務省, シェトロ, バンコック企業	"	"	"	議事録作成, 資料情報収集
24	27	水	事務所 海軍省, 内務省, 工業省, バンコック企業	"	"	"	レポート書き
25	28	木	事務所, バンコック野村, タイス林, 日本建設 大臣省, 科学技術省, バンコックの企業	"	"	"	レポート書き
26	29	金	事務所 海軍省, 日本大使館, JICA事務所 グレート上海レストラン	"	"	"	レポート書き, 情報収集, 帰国の挨拶, カンタ-10-ツ製労働会パ ーティ
27	30月	土	事務所	"	"	"	レポート書き
28	1	日	事務所	"	"	"	レポート書き
29	2	月	事務所	"	"	"	中間報告書作成
30	3	火	事務所 JAL462, バンコック→成田	"	"	"	中間報告プレゼンテーション, 中尾, 中島, 河野, 片山, 澄川, 森後, 6名 帰国
31	4	水	JAL718, バンコック→成田	"	"	"	西多, 佐藤, 小林, 3名 帰国

日 数	月 日	曜日	行 程	宿 泊 地	住 居 費 別		調 査 内 容
					日 当	宿 泊	
1	7/4	月	東京 <u>TA661</u> → バンコック	バンコック	乙	乙	移動
2	5	火		"	"	"	① JICAバンコック事務所 ② DTEC ③ 在タイ日本大使館 ④ IEAT
3	6	水		"	"	"	① JICAバンコック事務所 ② IEAT ③ DTEC ④ 在タイ日本大使館
4	7	木		"	"	"	① IEAT ② 在タイ日本大使館
5	8	金		"	"	"	① サムサコン地区(サイト)視察 ② JICAバンコック事務所
6	9	土		"	"	"	調査日合せ
7	10	日		"	"	"	調査日合せ、資料整理
8	11	月		"	"	"	① バンチヤン工業団地 ② バンブー工業団地視察 ③ ラトクラバン工業団地
9	12	火		バンコック	"	"	① IEAT ② 在タイ日本大使館 ③ DTEC
10	13	水	バンコック <u>JL718</u> → 東京		"		

3 調査業務支出経費対比表

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資料採集購費	IV 技術費	V 附帯費	合計	
① 計画額	事業団直営分	381,548	115,135	10,000	0	205,000	761,683
	コンサル契約分	6,231,000	1,902,000	238,000	28,240,000	0	36,611,000
	計	6,612,548	2,017,135	248,000	28,240,000	205,000	37,372,683
② 支出実績額	事業団直営分	371,648	131,818	7,680	0	14,600	525,746
	コンサル契約分	6,230,000	1,345,000	0	28,240,000	0	35,815,000
	計	6,601,648	1,476,818	7,680	28,240,000	14,600	36,340,746
③ 差引額 (① - ②)	事業団直営分	9,900	33,317	2,320	0	190,400	235,937
	コンサル契約分	1,000	557,000	238,000	0	0	796,000
	計	10,900	590,317	240,320	0	190,400	1,031,937

(コンサルタン契約分内訳)

コンサルタン名	① 計画額	② 支出実績額	③ 差引額(①-②)
(株) 地成計画連合	36,611,000	35,815,000	796,000

4 調査業務の支出の内訳

1 調査旅費

③ コンサートの契約分 6,601,648円

No	団員名 (担当)	研日数 (日) (月/日~日)	航空賃	支度料	滞在費				リムジンバス	旅行雑費	合計				
					日数	単価(円)	計(円)	日数				単価(円)	計(円)		
1	西多英治 (田長延祐)	2 (2/4~3/5) ³¹	239,800	17,517	2	3,800	31	117,800	2	11,400	50	342,000	3,800	2892	708,809
2	中尾 豊 (経済財務課)	2 (2/1~3/4) ²⁸	239,800	17,517	"	3,800	28	106,400	"	11,400	27	307,800	3,800	6,392	681,709
3	佐藤敏雄 (地政用設計)	5 (2/6~3/5) ²⁹	239,800	53,900	"	3,800	29	72,800	"	9,800	28	274,400	3,800	2,892	672,592
4	小 林 正 一 (参事兼、用也課)	4 (2/4~3/5) ³¹	239,800	61,990	"	3,800	31	77,200	"	9,800	30	294,000	3,800	4,892	703,682
5	片 山 和 弘 (工業用地設計)	4 (2/4~3/4) ³⁰	239,800	61,990	"	3,200	30	96,000	"	9,800	29	284,200	3,800	9,392	695,182
6	澄 川 次 (環境アセスメント)	2 (2/1~3/4) ²⁸	239,800	70,070	"	3,800	28	106,400	"	11,400	27	307,800	3,800	6,392	734,262
7	深 瀬 恒 康 (環境アセスメント)	4 (2/6~3/4) ²⁸	239,800	61,990	"	3,200	28	89,600	"	9,800	27	264,600	1,900	9,392	667,292
8	川 村 哲 大 (工業用地設計)	4 (2/4~3/4) ³⁰	239,800	61,990	"	3,200	30	96,000	"	9,800	29	284,200	0	592	682,582
9	中 島 巖 (工業用地設計)	3 (2/1~3/4) ²⁸	239,800	66,630	"	3,200	28	89,600	"	9,800	27	264,600	3,800	592	614,422
	合 計		2,158,200	472,994				893,800				2,623,600	28,500	53,428	6,230,522

④ 直営分

1	中 島 行 男 (業務調整)	4 (2/4~3/13) ¹⁰	239,800	7,148	2	3,200	10	96,000	2	9,800	9	88,200	1,900	2,000	571,648
										① + ④	6,601,648				

II 現地調査

1,476,818円

(円)

費目	直営分	コンサルタ分	計
備人費		480,000	480,000
車面等諸費	67,869	391,000	458,869
通信運搬費	6,975	166,000	172,975
資機材等購入費		179,000	179,000
現地報告書作成費		120,000	120,000
会議費	55,617		55,617
外貨交換手数料	1,357	18,831	20,188
交換差益損		△ 7,000	△ 7,000
計	131,818	1345,831 (注)1,345,000	1476,818

(注) 1000円未満は捨去

III 資機材等諸送費

7,680円

費目	直営分
消耗品等購入費	7,680
合計	7,680

V 技術費

28,240,000円

④ 現地調査

区分 格付	単価(円/日)	日数	人	金額(円)
2	30,000	30日 ^{23日} _{30日}	1	690,000
2	30,000	28日 ^{23日} _{30日}	2	1,288,000
3	25,400	28日 ^{23日} _{30日}	1	545,253
4	20,300	30日 ^{23日} _{30日}	3	1,400,700
4	20,300	28日 ^{23日} _{30日}	1	435,773
5	16,300	28日 ^{23日} _{30日}	1	349,916
			計	4,709,632

⑤ 国内設計作業

区分 格付	単価(円/日)	人・月	金額(円)
2	30,000	23日×30	2,670,000
3	25,400	23日×10	594,200
4	20,300	23日×9.0	1,867,600
5	16,300	23日×10	374,900
計			4,896,700

技術費合計 (額目とも1,000円未満は捨てる)

費 目	実績額(円)
(1) 直接人件費(㉔)+(㉕)	9,606,000
(2) 諸経費(1)×110%	10,566,000
(3) 技術経費(㉖)+(㉗)×140%	8,068,000
合 計 (1)~(3))	28,240,000

VI 附帯費

14,600 円

費 目	金額(円)
会議費	14,600